

# いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」  
に基づく統計量推計結果  
(平成25年7月～9月)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

平成26年2月

岩手県 商工労働観光部 観光課

# 目 次

## 第1部:「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

1. 調査概要	1
(1) 調査対象期間	1
(2) 共通基準について	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査体系	2
(5) 集計対象(範囲)	2
(6) 用語の定義	3
(7) その他	4
①延べ人数と実人数について	4
②調査エリアについて	4
2. 調査結果	5
(1) 調査対象地点数	5
(2) 観光地点等入込客数(延べ人数)	5
① 総数	5
② 地域別入込客数	5
③ 月別入込客数	6
④ 市町村別・月別入込客数	7
⑤ 地域別・分類別入込客数	11
(3) 観光入込客数(実人数)	12
(4) 観光消費額	15
① 観光消費額単価(日帰り宿泊別・県内県外別)	15
② 観光消費額(日帰り宿泊別・県内県外別)	17

## 第2部:観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

1. 調査概要	19
2. 観光客の動向分析	20
(1) 問1 住まいの地域	20
(2) 問2 性別・年代	21
(3) 問3 宿泊形態および宿泊数	22
(4) 問4 訪問の目的	24
(5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ	24
(6) 問6 観光地訪問の認知、回数	25
(7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問)	25
(8) 問8 観光地への交通機関	26
(9) 問9 今回の旅行費用について	27

# 第1部 「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

## 1. 調査概要

### (1) 調査対象期間

平成25年7月1日～平成25年9月30日（第2四半期）

### (2) 共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。

また、観光立国推進基本計画（平成19年6月29日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成22年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

### (3) 調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

#### ①観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

#### ②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

#### ③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

#### (4) 調査体系

本調査の実施単位は岩手県であるが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10 地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

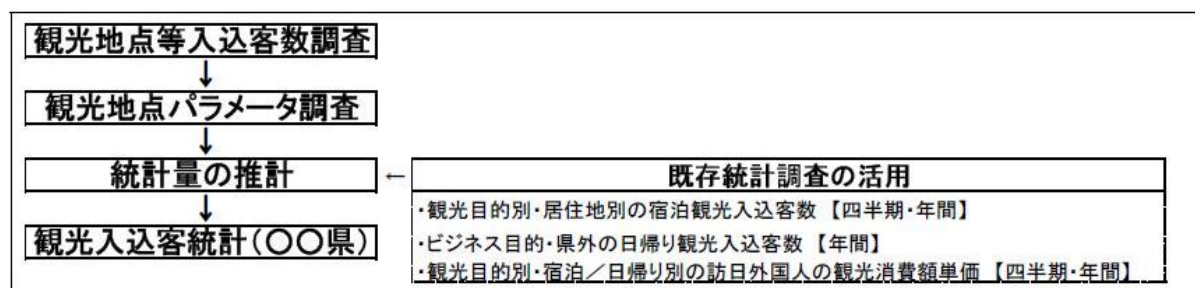


図1 観光入込客統計の調査体系

#### (5) 集計対象（範囲）

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の3つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

- ①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者＝日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③観光入込客数が年間1万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年1月1日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、1度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

## (6) 用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的兼観光	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても1人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客1人の1回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客1人の1回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

## (7) その他

### ①延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば5箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

### ②調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。



図2 調査エリア

## 2. 調査結果

### (1) 調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表 1 に示すとおり、観光地点総数が 265、行祭事・イベントが 122 である。

表 1 調査対象地点数

総数	観光地点						行祭事 ・イベント
	自然	歴史 ・文化	温泉 ・健康	スポーツ・ レクリエー ション	都市型 観光	その他	
265	34	58	71	57	22	23	122

### (2) 観光地点等入込客数（延べ人数）

#### ① 総数

平成 25 年 7 月～9 月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で 10,568,151 人回となり、前年度比で 109.0%となった。また、東日本大震災津波発災前の平成 22 年度比では 100.4%となり、震災前の水準をやや上回った。これは、いわて DC ありがとうキャンペーンに引き続き実施した「うまっ！いわて観光キャンペーン」の展開のほか、NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」放送による効果があるものと考えられる。

#### ② 地域別入込客数

岩手県内の 4 つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の状況は、表 2 及び図 3 に示すとおりである。

入込客数では県央エリアが 3,896,020 人回と最も多く、県北エリアが 1,376,847 人回と最も少ない。前年度比では、沿岸エリア 129.2%、県北エリア 136.7%と大幅に増加していることから、NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」放送の効果により、久慈市をはじめとした県北・沿岸エリアへの誘客が図られているとみられる。

一方、県南エリアでは 95.4%と前年度を下回っており、平泉の世界遺産登録の効果が落ち着きをみせ始めていることが要因として考えられる。

表 2 地域別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域区分	7 月	8 月	9 月	平成 25 年度 7-9 期合計	平成 24 年 度比	平成 24 年度 7-9 期合計	平成 23 年 度比	平成 23 年度 7-9 期合計	平成 22 年 度比	平成 22 年度 7-9 期合計
県央エリア	750,478	2,416,290	729,252	3,896,020	108.4%	3,593,597	111.2%	3,502,782	111.8%	3,485,788
県南エリア	826,899	1,748,656	1,071,038	3,646,593	95.4%	3,820,539	92.9%	3,924,204	99.7%	3,655,844
沿岸エリア	467,565	743,401	437,725	1,648,691	129.2%	1,276,056	346.6%	475,705	70.7%	2,332,593
県北エリア	317,341	556,116	503,390	1,376,847	136.7%	1,006,954	147.7%	931,966	130.7%	1,053,219
総計	2,362,283	5,464,463	2,741,405	10,568,151	109.0%	9,697,146	119.6%	8,834,657	100.4%	10,527,444

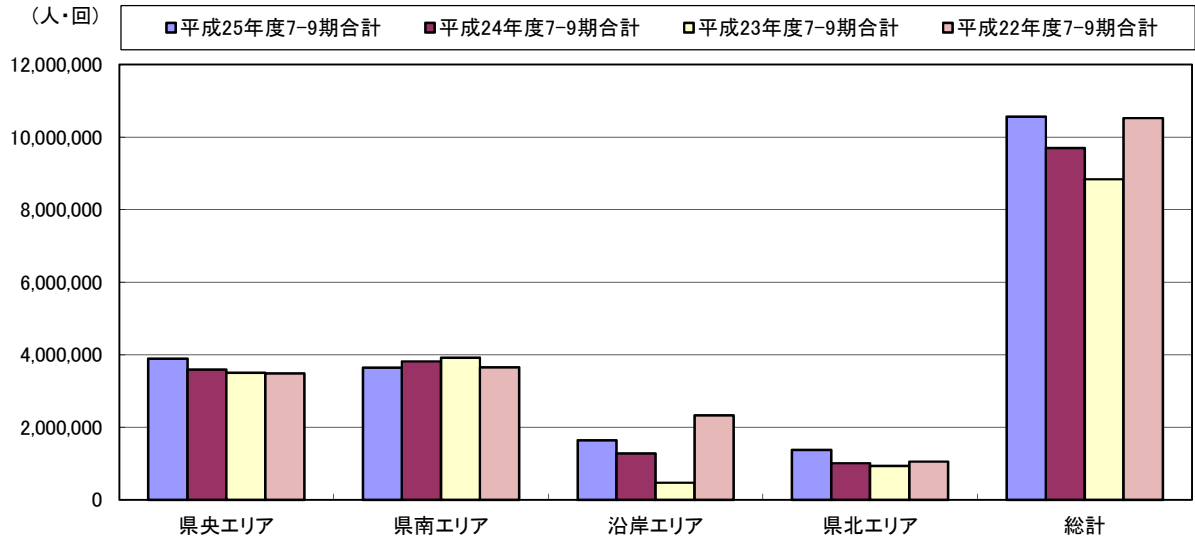


図3 地域別入込客数 (延べ人数から算出)

### ③ 月別入込客数

岩手県全体での月別の入込客数(延べ人数)は表3及び図4に示すとおりである。

夏期の休暇日を多く含む8月が5,464,463人回と最も多くなっている。また、平成24年度比・23年度比では各月とも100%を超えていることから、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」放送により県北・沿岸エリアを中心に認知度が徐々に向上し、その効果が表れているものと考えられる。一方、平成22年度比では、7月が100%を下回るなど、未だ震災前の水準には至っていない月があるものの概ね改善している。

表3 月別入込客数 (延べ人数)

単位: 人回

月	平成25年度	平成24年度比	平成24年度	平成23年度比	平成23年度	平成22年度比	平成22年度
7月	2,362,283	104.2%	2,266,507	118.5%	1,994,304	95.3%	2,477,763
8月	5,464,463	114.7%	4,762,832	120.1%	4,549,001	100.8%	5,421,121
9月	2,741,405	102.8%	2,667,807	119.6%	2,291,352	104.3%	2,628,560

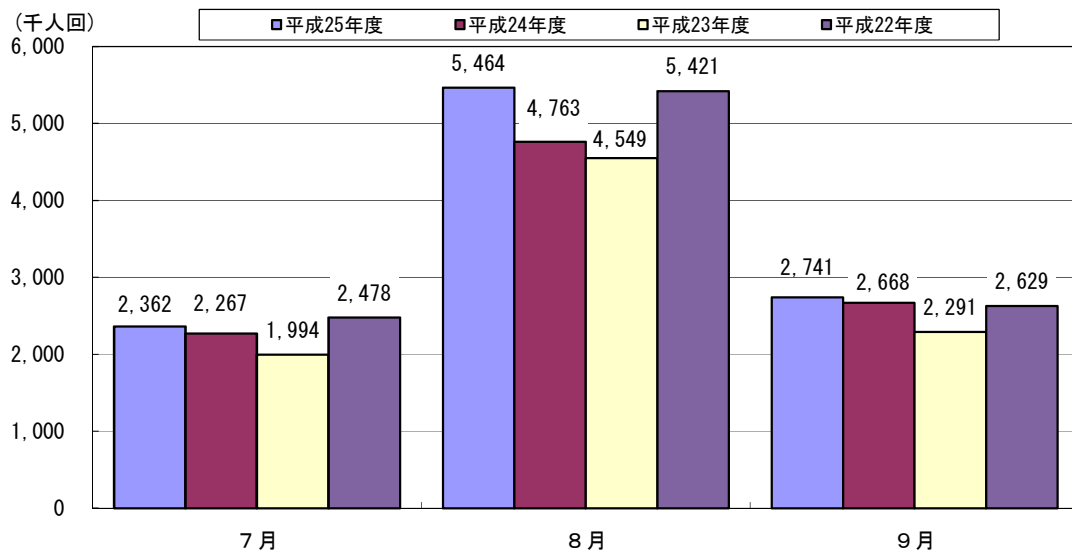


図4 月別入込客数 (延べ人数から算出)



#### ④ 市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表4並びに図5-1、5-2、6-1、6-2、7-1及び7-2に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは盛岡市の2,187,371人回で、次いで花巻市の790,602人回、一関市の681,372人回となった。また、前年度比では、久慈市の229.6%、田野畑村の194.1%、宮古市の163.8%など、沿岸の市町村の入込客数の増加が目立っている。これは、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」放送の効果が要因として考えられる。

一方、県南エリアの入込客数の多い一関市、平泉町が前年度比で約80%台まで減少している。これは、平泉の世界遺産登録の効果が落ち着きをみせ始めていることが要因として考えられる。

表4 市町村別・月別入込客数（延べ人数）

市町村	7月	8月	9月	7-9期合計	平成24年度	平成24年度	平成23年度	平成23年度	平成22年度	平成22年度
					比	7-9期合計	比	7-9期合計	比	7-9期合計
盛岡市	266,950	1,696,878	223,543	2,187,371	111.4%	1,964,110	105.5%	2,073,515	106.0%	2,063,990
宮古市	127,122	256,514	138,216	521,852	163.8%	318,591	528.6%	98,731	132.5%	393,895
大船渡市	168,869	177,860	114,423	461,152	125.2%	368,338	433.2%	106,448	106.3%	433,978
花巻市	202,481	298,287	289,834	790,602	96.1%	822,835	102.2%	773,727	104.0%	759,860
北上市	28,525	423,809	69,400	521,734	177.5%	294,000	200.7%	260,000	155.4%	335,700
久慈市	100,645	238,371	256,331	595,347	229.6%	259,257	256.9%	231,723	215.5%	276,270
遠野市	137,236	251,246	194,685	583,167	90.7%	642,741	85.7%	680,782	84.8%	687,357
一関市	179,271	302,696	199,405	681,372	83.7%	813,842	82.4%	827,233	79.8%	853,592
陸前高田市	18,003	34,882	18,313	71,198	108.4%	65,693	-	-	13.7%	517,923
釜石市	32,127	37,871	32,557	102,555	91.1%	112,555	111.6%	91,904	34.0%	301,231
二戸市	39,117	51,405	76,803	167,325	97.1%	172,321	97.5%	171,661	93.3%	179,294
八幡平市	135,499	192,984	126,689	455,172	163.6%	278,181	152.7%	298,025	147.2%	309,234
奥州市	88,331	166,758	84,901	339,990	92.5%	367,647	78.3%	433,945	79.9%	425,555
雫石町	175,808	329,794	146,684	652,286	87.3%	746,782	97.1%	671,838	120.7%	540,321
葛巻町	41,535	55,917	43,793	141,245	106.3%	132,936	106.2%	133,056	99.5%	142,013
岩手町	32,010	22,642	57,167	111,819	100.9%	110,792	145.3%	76,936	168.8%	66,263
滝沢村	28,769	44,316	44,633	117,718	100.8%	116,752	1600.1%	7,357	117.3%	100,371
紫波町	37,206	56,904	72,735	166,845	97.8%	170,552	101.2%	164,847	94.0%	177,477
矢巾町	32,701	16,855	14,008	63,564	86.5%	73,492	82.3%	77,208	73.8%	86,119
西和賀町	41,417	51,936	41,011	134,364	104.3%	128,773	98.4%	136,531	109.7%	122,462
金ヶ崎町	29,481	30,363	28,364	88,208	96.0%	91,874	96.6%	91,358	97.9%	90,143
平泉町	120,157	223,561	163,438	507,156	77.0%	658,827	70.4%	720,628	133.1%	381,175
住田町	8,268	12,854	8,989	30,111	74.3%	40,544	77.0%	39,116	79.5%	37,867
大槌町	-	-	-	-	-	1,500	-	-	-	96,145
山田町	16,034	22,346	16,930	55,310	62.9%	87,931	-	10,000	58.7%	94,166
岩泉町	39,642	97,374	55,997	193,013	112.9%	170,904	177.3%	108,846	97.2%	198,658
田野畑村	57,500	103,700	52,300	213,500	194.1%	110,000	1033.4%	20,660	82.5%	258,730
普代村	5,544	5,355	6,440	17,339	150.2%	11,541	115.3%	15,033	147.3%	11,772
軽米町	7,233	20,638	26,915	54,786	71.1%	77,086	101.4%	54,049	68.9%	79,516
野田村	30,298	38,153	35,141	103,592	128.7%	80,514	135.3%	76,582	110.3%	93,891
九戸村	9,401	12,098	9,534	31,033	147.2%	21,077	150.3%	20,652	149.2%	20,795
洋野町	87,348	101,420	62,275	251,043	109.8%	228,588	123.7%	202,929	105.8%	237,250
一戸町	37,755	88,676	29,951	156,382	99.9%	156,570	98.1%	159,337	101.3%	154,431
総計	2,362,283	5,464,463	2,741,405	10,568,151	109.0%	9,697,146	119.6%	8,834,657	100.4%	10,527,444

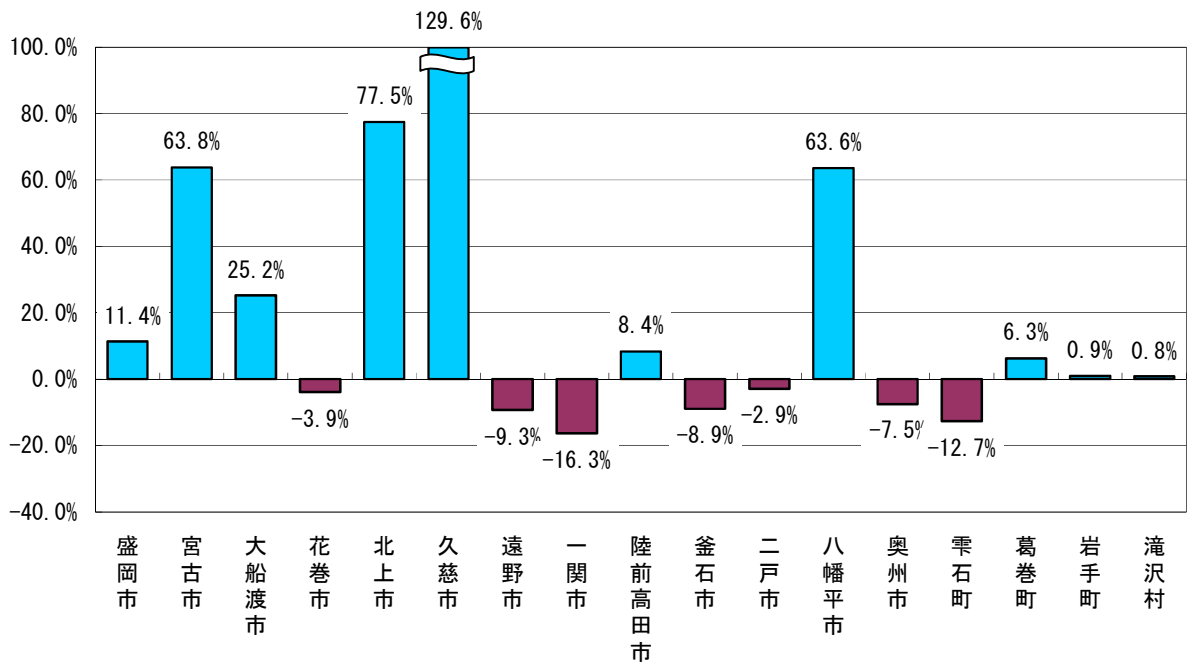


図5-1 市町村別・月別入込客数 平成24年度増減比(1)

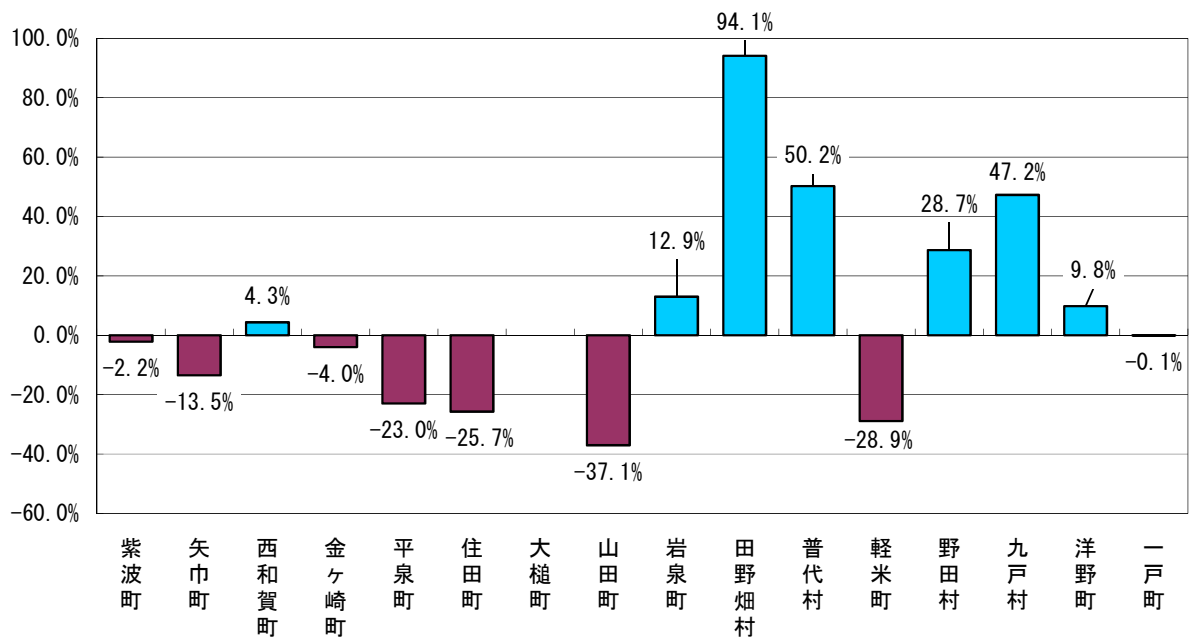


図5-2 市町村別・月別入込客数 平成24年度増減比(2)

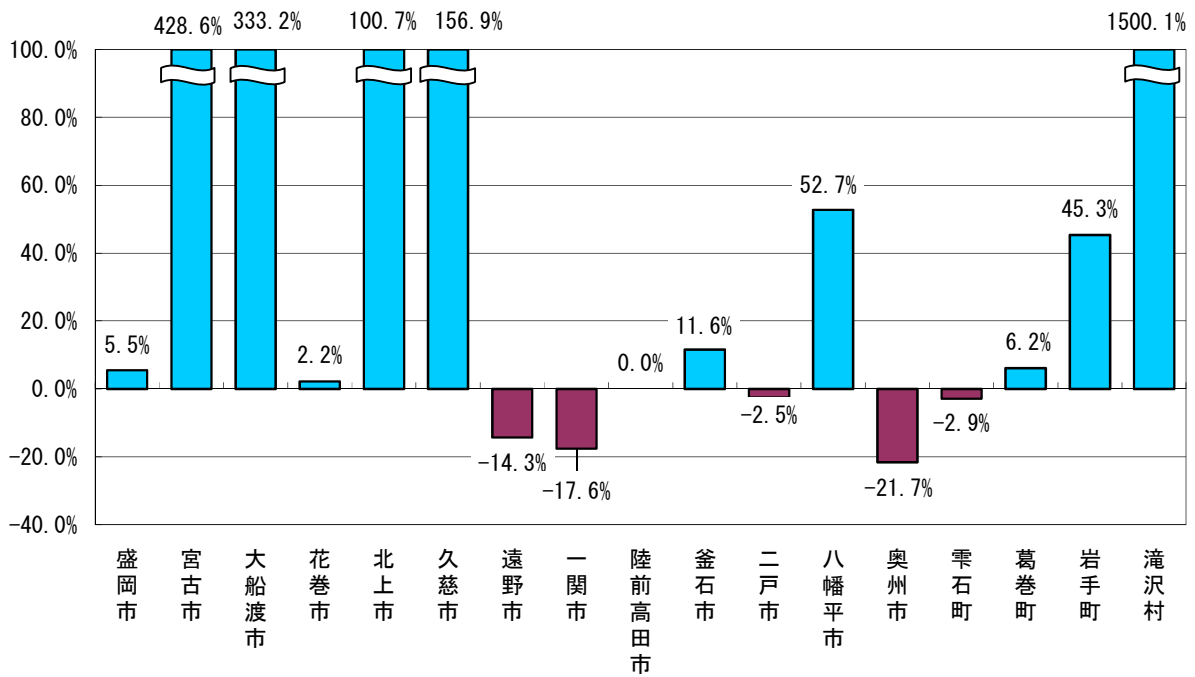


図 6-1 市町村別・月別入込客数 平成 23 年度増減比 (1)

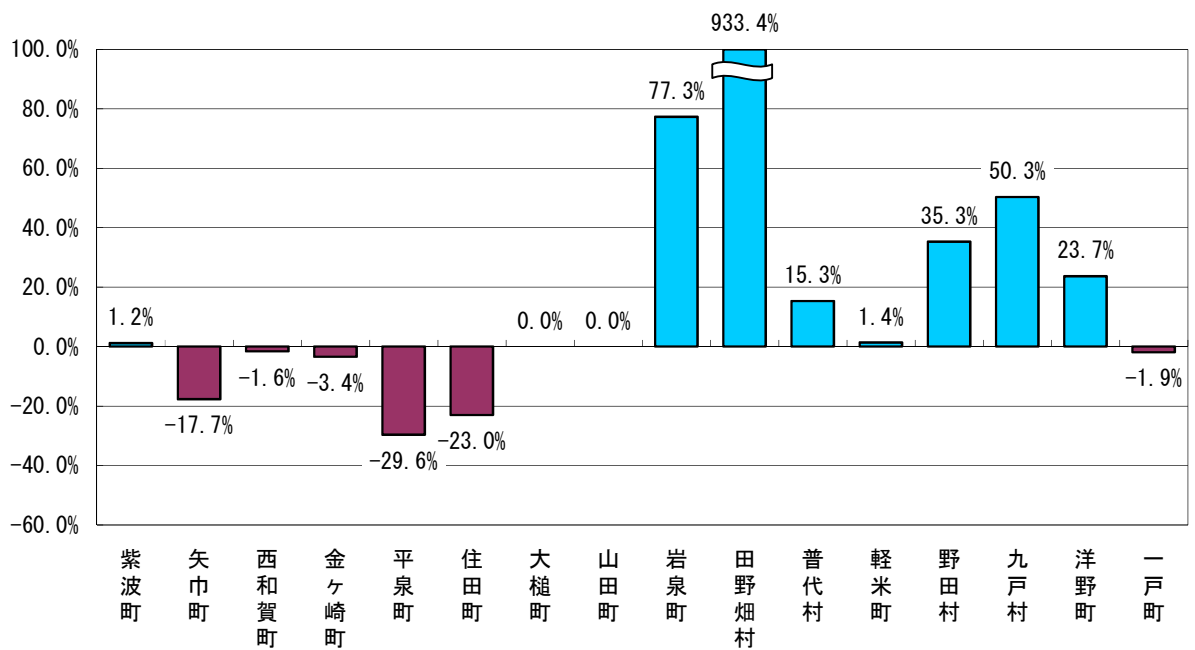


図 6-2 市町村別・月別入込客数 平成 23 年度増減比 (2)

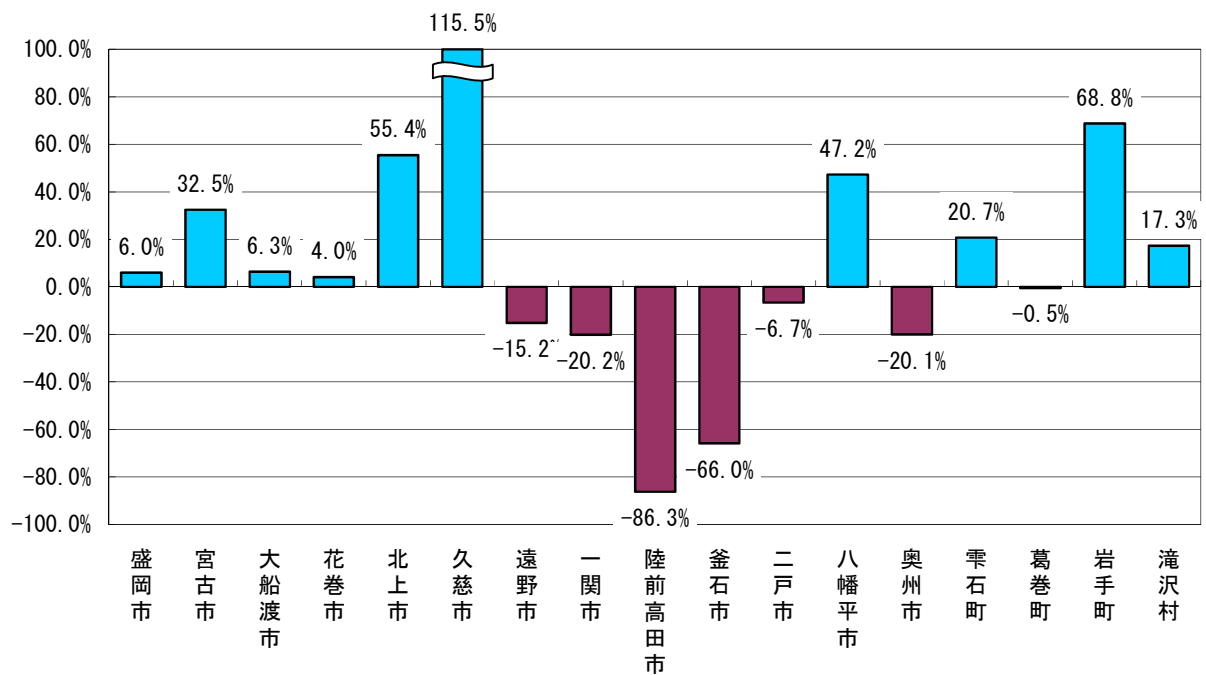


図7-1 市町村別・月別入込客数 平成22年度増減比(1)

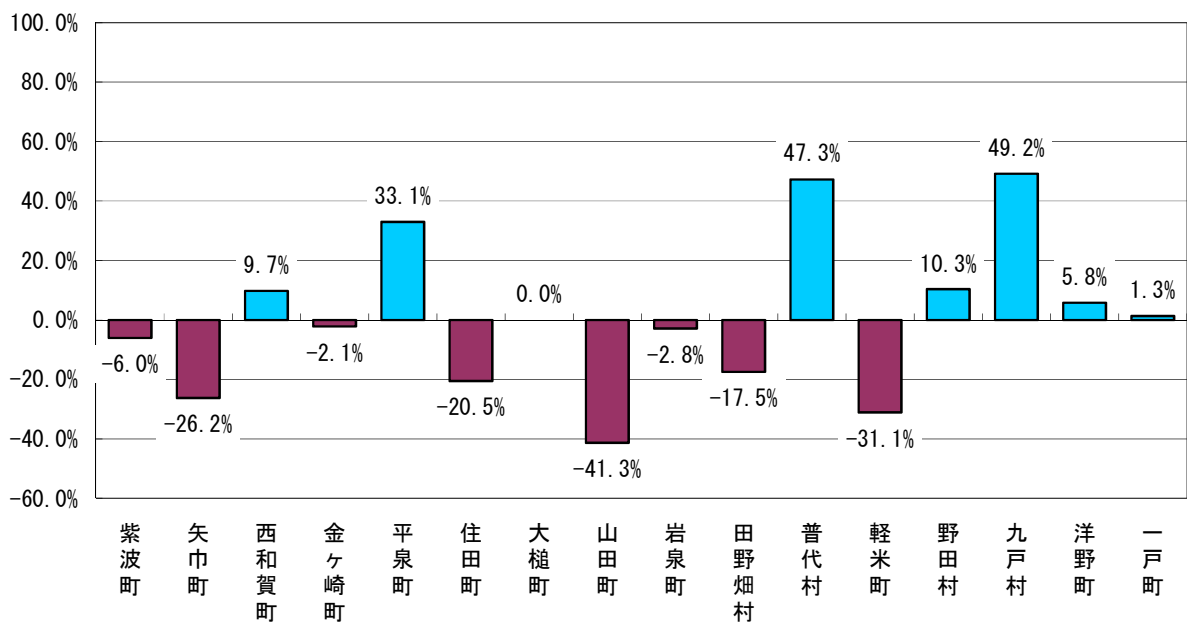


図7-2 市町村別・月別入込客数 平成22年度増減比(2)

### ⑤ 地域別・分類別入込客数

岩手県内の地域別・分類別の入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表5及び図8に示すとおりである。

岩手県全体で見ると「行祭事・イベント」が2,942,339人回と最も多く、沿岸エリアを除く各地域で最も多い入込割合を占めている。次いで「自然」の1,964,888人回となり、これは、沿岸エリアで最も多い入込割合となっている。

「行祭事・イベント」を除くと、県央エリアでは「温泉・健康」、県南エリアでは「歴史・文化」、県北エリアでは「都市型観光(買物・食)」の入込割合が多くなっている。

表5 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光(買物・食)	その他	行祭事・イベント
県央エリア	438,844	374,408	631,467	560,243	96,634	257,524	1,536,900
県南エリア	605,876	759,198	554,269	214,827	559,325	33,162	919,936
沿岸エリア	706,444	39,739	85,958	55,865	151,682	562,503	46,500
県北エリア	213,724	95,255	137,446	45,738	244,849	200,832	439,003
総計	1,964,888	1,268,600	1,409,140	876,673	1,052,490	1,054,021	2,942,339

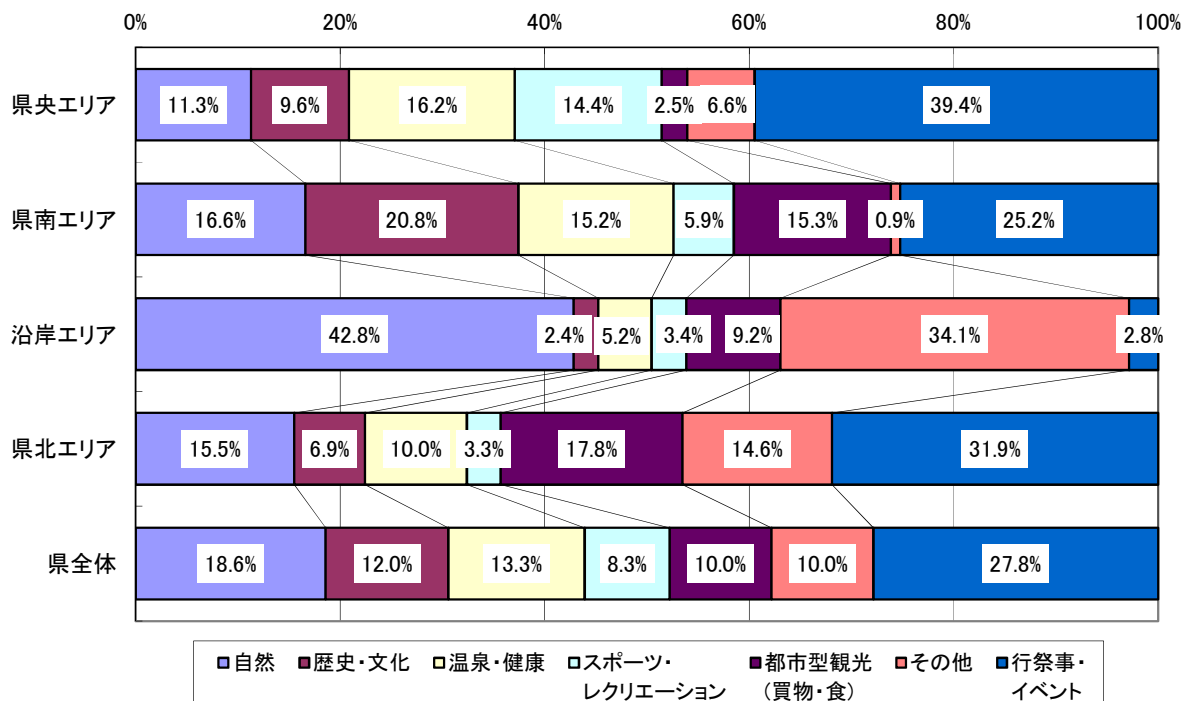


図8 地域別・分野別入込割合（延べ人数から算出）

### (3) 観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は表 6、表 7 及び図 9 に示すとおりである。

なお、この入込客数は実人数であり、観光地点等ごとの重複を除いた数値である。1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても 1 人・回と数える。

本県を訪れた観光目的の入込客数は、平成 24 年度比 86.9%、平成 23 年度比 61.7%、平成 22 年度比 74.3%であった。宿泊及び日帰り別では、宿泊客は、平成 24 年度比 122.9%、平成 23 年度比 71.6%、平成 22 年度比 122.3%であり、震災前の水準を上回っている。要因として、県外客の増加割合が高いことから、「うまっ！いわて観光キャンペーン」の展開や NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」放送による効果があるものとみられる。一方、県内客は県外客ほどの伸びがみられない。

また、日帰り客は、県内客、県外客とも過年度を下回っており、日帰り観光自体が減少傾向にある。

なお、ビジネス兼観光目的の入込客数は、平成 24 年度比 156.5%、平成 23 年度比 129.6%、平成 22 年度比 173.5%となった。特に、日帰りの県外客が大幅に増加している。

表 6-1 日帰り宿泊別・県内県外別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			7-9 期合計
	宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内	
観光目的入込客数	1,003	759	244	1,448	685	763	2,451
平成 24 年度比	122.9%	133.2%	99.2%	72.2%	71.2%	73.2%	86.9%
平成 24 年度 7-9 期合計	816	570	246	2,005	962	1,043	2,821
平成 23 年度比	71.6%	116.2%	32.7%	56.3%	58.8%	54.2%	61.7%
平成 23 年度 7-9 期合計	1,400	653	747	2,573	1,165	1,408	3,973
平成 22 年度比	122.3%	139.0%	89.1%	58.4%	70.2%	50.8%	74.3%
平成 22 年度 7-9 期合計	820	546	274	2,478	976	1,502	3,298
ビジネス兼観光目的入込客数	647	453	194	250	231	19	897
平成 24 年度比	116.4%	112.7%	126.0%	1,470.6%	5,775.0%	146.2%	156.5%
平成 24 年度 7-9 期合計	556	402	154	17	4	13	573
平成 23 年度比	98.6%	86.6%	145.9%	694.4%	2,310.0%	73.1%	129.6%
平成 23 年度 7-9 期合計	656	523	133	36	10	26	692
平成 22 年度比	129.4%	124.5%	142.6%	1,470.6%	2,566.7%	237.5%	173.5%
平成 22 年度 7-9 期合計	500	364	136	17	9	8	517

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

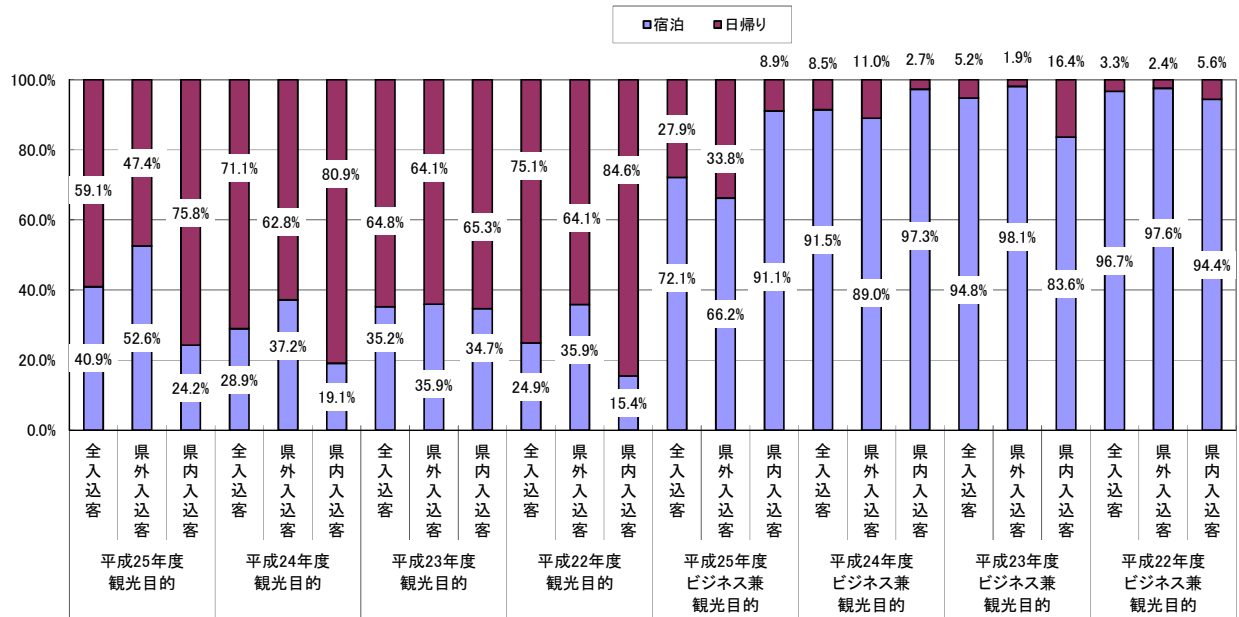


図9-1 年度別・目的別の宿泊・日帰り割合

表6-2 県内県外別・日帰り宿泊別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	県外			県内			7-9 期合計
	県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り	
観光目的入込客数	1,444	759	685	1,007	244	763	2,451
平成24年度比	94.3%	133.2%	71.2%	78.1%	99.2%	73.2%	86.9%
平成24年度7-9期合計	1,532	570	962	1,289	246	1,043	2,821
平成23年度比	79.4%	116.2%	58.8%	46.7%	32.7%	54.2%	61.7%
平成23年度7-9期合計	1,818	653	1,165	2,155	747	1,408	3,973
平成22年度比	94.9%	139.0%	70.2%	56.7%	89.1%	50.8%	74.3%
平成22年度7-9期合計	1,522	546	976	1,776	274	1,502	3,298
ビジネス兼観光目的入込客数	684	453	231	213	194	19	897
平成24年度比	168.5%	112.7%	5,775.0%	127.5%	126.0%	146.2%	156.5%
平成24年度7-9期合計	406	402	4	167	154	13	573
平成23年度比	128.3%	86.6%	2,310.0%	134.0%	145.9%	73.1%	129.6%
平成23年度7-9期合計	533	523	10	159	133	26	692
平成22年度比	183.4%	124.5%	2,566.7%	147.9%	142.6%	237.5%	173.5%
平成22年度7-9期合計	373	364	9	144	136	8	517

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

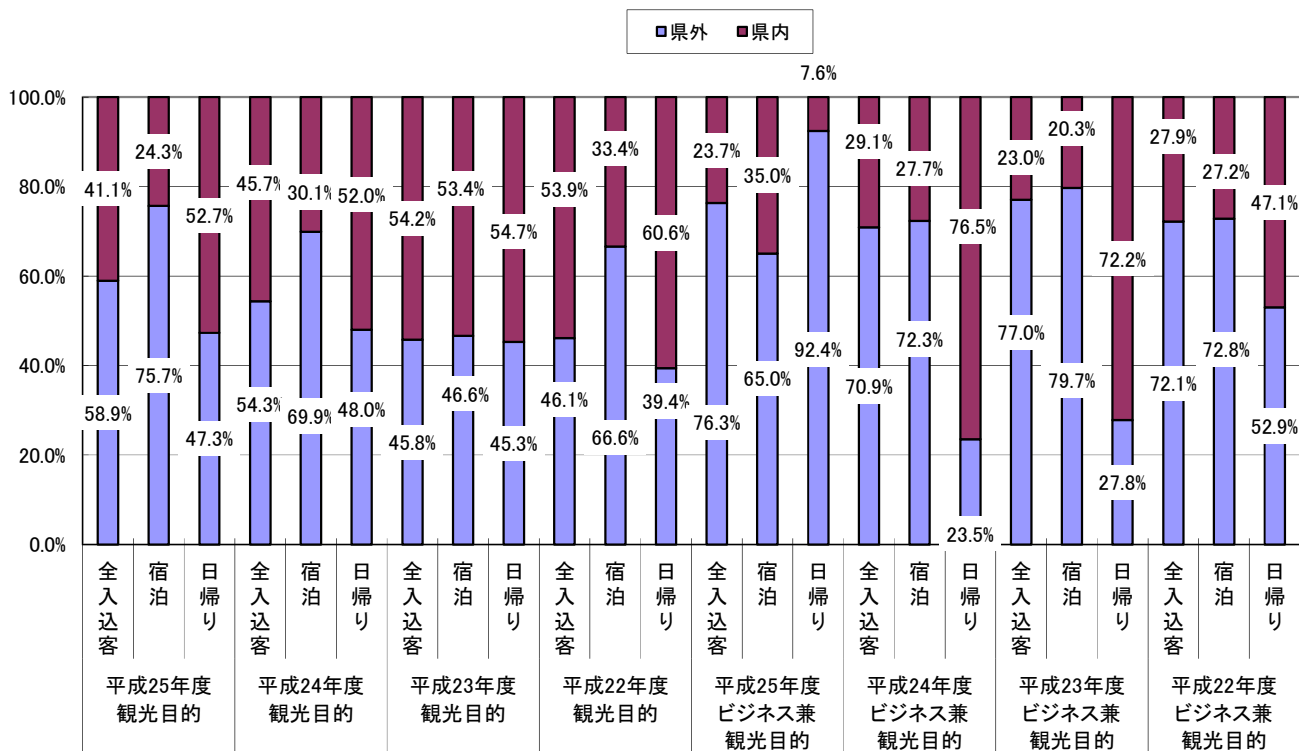


図9-2 年度別・県内・県外別の宿泊・日帰り割合

本県を訪れた訪日外国人宿泊客数は、平成24年度比150.0%、平成23年度比225.0%、平成22年度比60.0%であった。東日本大震災津波の風評被害等が改善に向かい、外国人観光客が戻りつつあるが、震災前の水準までは回復していない。

表7 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			7-9期合計
	宿泊計	観光	ビジネス	日帰り計	観光	ビジネス	
訪日外国人入込客数	9	6	3	33	33	-	42
平成24年度比	150.0%	150.0%	150.0%	-	-	-	700.0%
平成24年度7-9期合計	6	4	2	-	-	-	6
平成23年度比	225.0%	300.0%	150.0%	-	-	-	1,050.0%
平成23年度7-9期合計	4	2	2	-	-	-	4
平成22年度比	60.0%	50.0%	100.0%	-	-	-	280.0%
平成22年度7-9期合計	15	12	3	-	-	-	15



## (4) 観光消費額

### ① 観光消費額単価（日帰り宿泊別・県内県外別）

観光消費額単価は表 8、表 9 及び図 10 に示すとおりである。

なお、単位の「円／人・回」は、観光入込客 1 人の 1 回の旅行における観光消費額を指す。

観光目的の宿泊客の観光消費額単価は、県内客では、平成 24 年度比 122.8%、平成 23 年度比 336.3%、平成 22 年度比 91.8%、県外客では、平成 24 年度比 86.4%、平成 23 年度比 69.0%、平成 22 年度比 69.9%である。県内客と比べて県外客が伸び悩んでいる状況にある。NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」放送により、県外から県北・沿岸エリアへ訪れる観光客が増加しているものの、「都市型観光（買物・食）」の入込の多い県南エリアの観光客の減少がその要因として考えられる。県北・沿岸エリアに訪れる県外観光客が県内全域を回遊する施策などにより観光消費額単価を高める工夫が必要と思われる。

なお、ビジネス兼観光目的の観光消費額単価は、サンプル数が少なく 1 回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっている。県外の宿泊客は、平成 23 年度比で 15.7%となるなど、東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ね一段落したものの、増加傾向にある。

表 8 日帰り宿泊別・県内県外別 観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	県外	県内	県外	県内
観光目的 観光消費額単価	22,235	20,088	8,186	3,900
平成 24 年度比	86.4%	122.8%	94.0%	129.0%
平成 24 年度 7-9 期観光消費額単価	25,735	16,356	8,710	3,023
平成 23 年度比	69.0%	336.3%	111.6%	143.6%
平成 23 年度 7-9 期観光消費額単価	32,232	5,974	7,335	2,716
平成 22 年度比	69.9%	91.8%	59.8%	100.5%
平成 22 年度 7-9 期観光消費額単価	31,798	21,877	13,690	3,881
ビジネス兼観光目的 観光消費額単価	44,544	20,674	4,430	4,616
平成 24 年度比	192.2%	-	152.1%	193.0%
平成 24 年度 7-9 期観光消費額単価	23,174	-	2,912	2,392
平成 23 年度比	15.7%	-	30.6%	187.3%
平成 23 年度 7-9 期観光消費額単価	282,985	-	14,496	2,464
平成 22 年度比	118.1%	-	19.7%	144.3%
平成 22 年度 7-9 期観光消費額単価	37,718	-	22,466	3,200

(注) 観光消費額単価には訪日外国人を含まない。

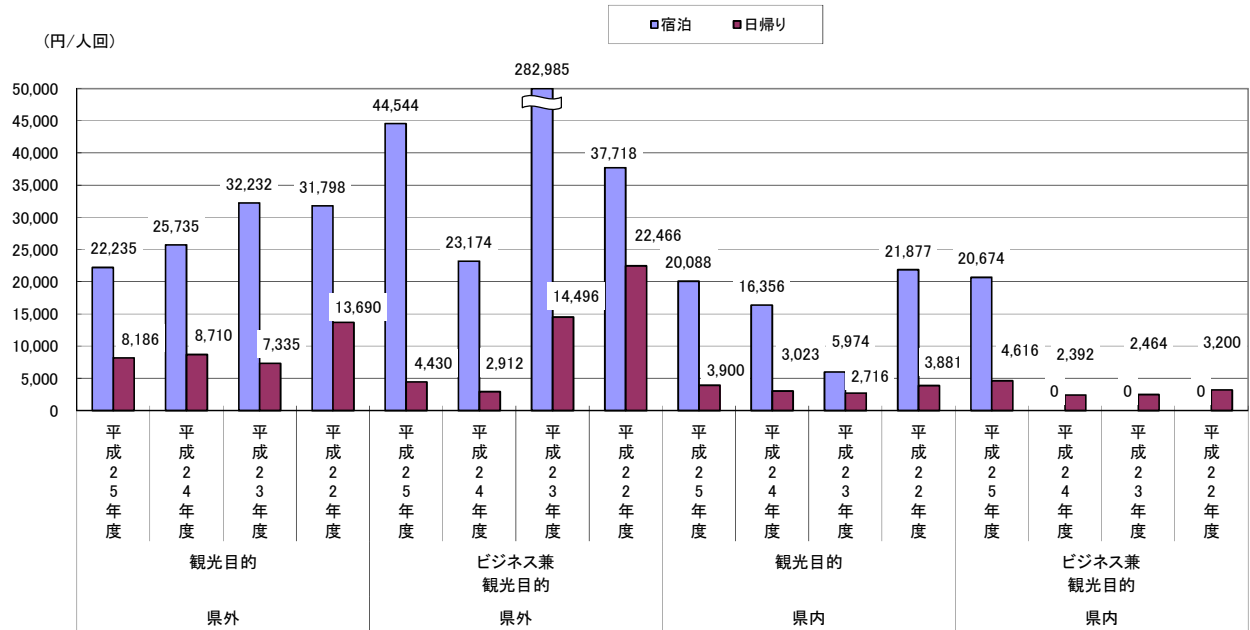


図 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額単価

日帰り宿泊別・観光ビジネス別訪日外国人観光消費額単価は表9に示すとおりである。

観光消費額単価は、パラメータ調査による値であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1回答者の金額の影響が大きく、時系列での比較が難しいが、概ね増加傾向にある。

表 9 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光	ビジネス	観光	ビジネス
訪日外国人 観光消費額単価	63,156	72,492	14,698	9,176
平成 24 年度比	121.2%	101.8%	199.5%	112.2%
平成 24 年度 7-9 期 観光消費額単価	52,116	71,219	7,366	8,180
平成 23 年度比	164.4%	110.8%	209.6%	124.5%
平成 23 年度 7-9 期 観光消費額単価	38,417	65,453	7,011	7,373
平成 22 年度比	143.3%	58.9%	181.3%	113.2%
平成 22 年度 7-9 期 観光消費額単価	44,060	122,981	8,109	8,109

## ② 観光消費額（日帰り宿泊別・県内県外別）

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額は表 10 及び図 11 に示すとおりである。

観光目的の観光消費額の総額は、平成 24 年度比 100.4%、平成 23 年度比 80.1%、平成 22 年度比 71.3%である。日帰り・宿泊別では、宿泊は平成 24 年度比 116.4%、平成 23 年度比 85.3%、平成 22 年度比 93.1%と増加傾向にある一方、日帰りは平成 24 年度比 74.4%、平成 23 年度比 69.4%、平成 22 年度比 44.7%と減少傾向にあることから、今後は日帰りの観光客の増加を図る取組が求められる。

一方、ビジネス兼観光目的の観光消費額の総額は、平成 23 年度比で 17.0%となるなど、東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ね一段落したものの、増加傾向にある。

表 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊総数	県外	県内	日帰り総数	県外	県内	
観光目的 観光消費額	21,761	16,870	4,891	8,583	5,609	2,974	30,344
平成 24 年度比	116.4%	115.1%	121.5%	74.4%	67.0%	94.3%	100.4%
平成 24 年度 7-9 期 観光消費額	18,688	14,663	4,025	11,530	8,377	3,153	30,218
平成 23 年度比	85.3%	80.1%	109.5%	69.4%	65.6%	77.8%	80.1%
平成 23 年度 7-9 期 観光消費額	25,525	21,060	4,465	12,369	8,545	3,824	37,894
平成 22 年度比	93.1%	97.1%	81.5%	44.7%	42.0%	51.0%	71.3%
平成 22 年度 7-9 期 観光消費額	23,372	17,373	5,999	19,195	13,365	5,830	42,567
ビジネス兼 観光目的観光消費額	24,173	20,164	4,009	1,110	1,022	88	25,283
平成 24 年度比	259.4%	216.4%	-	2,581.4%	9,290.9%	275.0%	270.1%
平成 24 年度 7-9 期 観光消費額	9,318	9,318	-	43	11	32	9,361
平成 23 年度比	16.3%	13.6%	-	533.7%	709.7%	137.5%	17.0%
平成 23 年度 7-9 期 観光消費額	148,118	148,118	-	208	144	64	148,326
平成 22 年度比	176.3%	147.0%	-	491.2%	505.9%	366.7%	181.4%
平成 22 年度 7-9 期 観光消費額	13,714	13,714	-	226	202	24	13,940

(注) 観光消費額には訪日外国人を含まない。

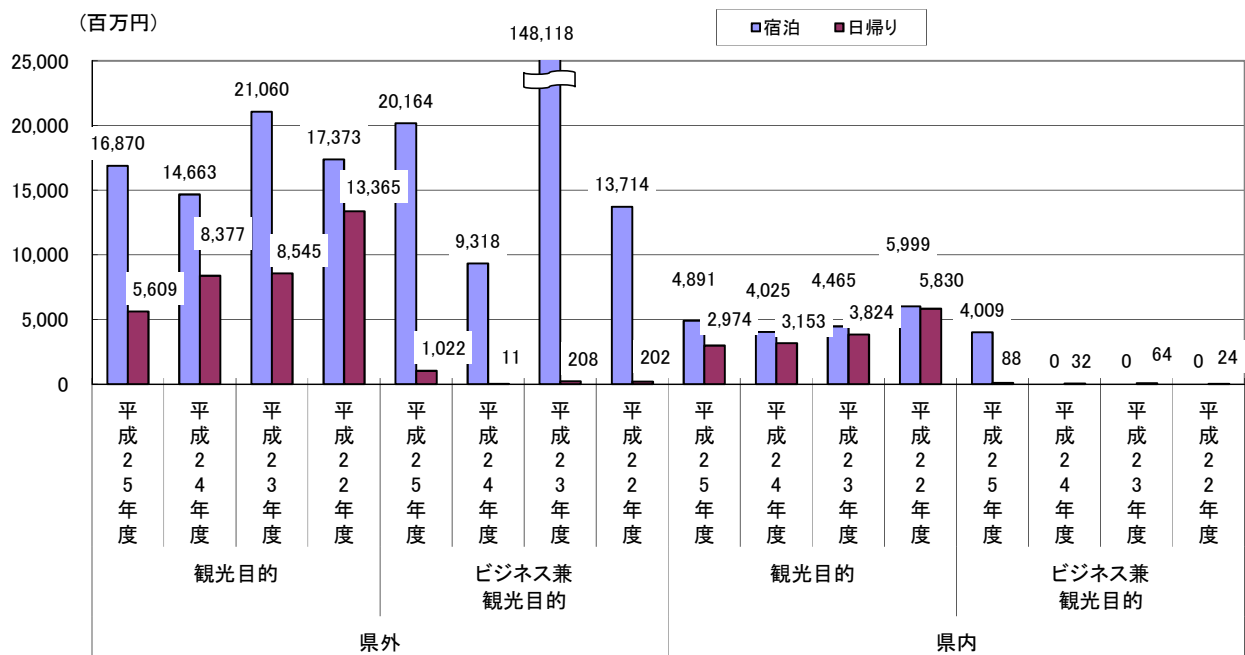


図 11 日帰り宿泊別・県内県外観光消費額

日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額は表 11 に示すとおりである。

訪日外国人の観光消費額の総額は、平成 24 年度比 283.1%、平成 23 年度比 660.5%、平成 22 年度比 122.8%である。また、宿泊総額では、平成 24 年度比 155.6%、平成 23 年度比 363.0%、平成 22 年度比 67.5%であり、震災後の平成 24 年度以降改善傾向にある。

なお、この観光消費額は、表 9 で示した観光消費額単価に、表 7 に示した入込客数を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人のようなサンプル数が少ない数値については、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表 11 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊総額	観光	ビジネス	日帰り総額	観光	ビジネス	
訪日外国人観光消費額	588	396	192	482	482	-	1,070
平成 24 年度比	155.6%	177.6%	123.9%	-	-	-	283.1%
平成 24 年度 7-9 期観光消費額	378	223	155	-	-	-	378
平成 23 年度比	363.0%	682.8%	184.6%	-	-	-	660.5%
平成 23 年度 7-9 期観光消費額	162	58	104	-	-	-	162
平成 22 年度比	67.5%	73.2%	58.2%	-	-	-	122.8%
平成 22 年度 7-9 期観光消費額	871	541	330	-	-	-	871

## 第2部 観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

### 1. 調査概要

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期] 平成25年8月

[調査地点] 下記のとおり、岩手県内の観光地点10ヶ所で実施

[調査内容] 観光の目的、訪問（予定）観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など観光に係る項目

[調査票回収件数] 784件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表 12 アンケート調査票件数、旅行人数（調査地点別）

調査地点	調査実施時期				
	市町村名	地域名	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数 (本人含む)
小岩井農場	雫石町	県央地域	8/4	102	688
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	8/3	67	339
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	8/10	87	244
平泉（中尊寺）	平泉町	県南地域	8/10	73	266
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	8/11	89	342
宮沢賢治記念館	花巻市	県南地域	8/31	68	333
道の駅くじ「やませ土風館」	久慈市	県北地域	8/4	46	136
なにやーと物産センター	二戸市	県北地域	8/24, 8/25	84	438
浄土ヶ浜	宮古市	沿岸地域	8/24, 8/25	100	352
碁石海岸	大船渡市	沿岸地域	8/24, 8/25	68	250
合計				784	3,388

今回実施したアンケート調査結果を集計した結果について、次頁以降において説明する。

## 2. 観光客の動向分析

### (1) 問1 住まいの地域

問1は、来訪者の住まいの地域に関する設問である。問1の結果を集計しグラフ化したものが、図12である。

この結果、アンケート調査回答者の3割弱(29.1%)は岩手県内からの来訪者であり、岩手県外からの来訪者は約7割(70.9%)である。

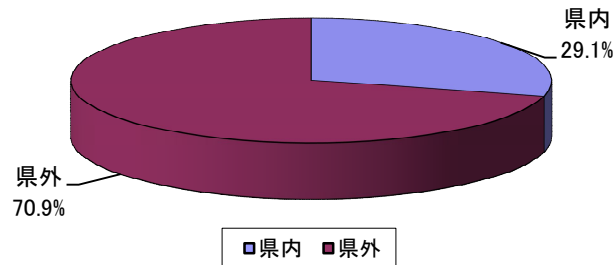


図12 地域別・分類別入込割合(延べ人数から算出)

岩手県外からの来訪者について都道府県別に旅行人数を集計し、グラフ化したものが図13である。

県外客で最も人数が多いのは東京都(19.1%)、次いで宮城県(15.9%)、埼玉県(11.4%)、青森県(8.9%)であり、これらの4都県で5割以上(55.3%)を占めている。

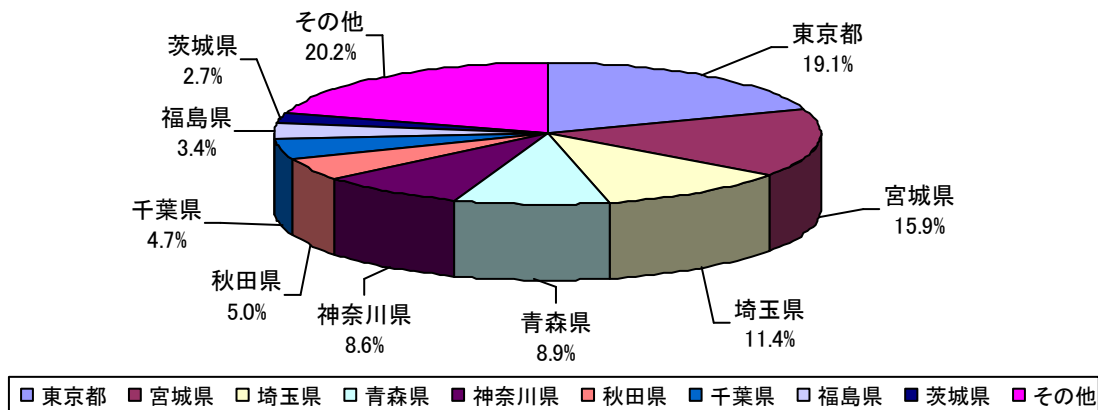


図13 県外客の住まいの地域(岩手県及び来訪者0人の都道府県を除く)

表13 各県当たり観光客数および比率(岩手県及び来訪者0人の県を除く)

東京都	宮城県	埼玉県	青森県	神奈川県	秋田県	千葉県	福島県	茨城県	山形県
107人	89人	64人	50人	48人	28人	26人	19人	15人	14人
19.1%	15.9%	11.4%	8.9%	8.6%	5.0%	4.7%	3.4%	2.7%	2.5%
栃木県	愛知県	静岡県	群馬県	新潟県	山梨県	兵庫県	北海道	京都府	大阪府
14人	13人	9人	7人	5人	5人	5人	4人	3人	3人
2.5%	2.3%	1.6%	1.3%	0.9%	0.9%	0.9%	0.7%	0.5%	0.5%
広島県	愛媛県	福岡県	福井県	長野県	岐阜県	三重県	奈良県	和歌山県	徳島県
3人	3人	3人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人
0.5%	0.5%	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%
富山県	鳥取県	高知県	沖縄県	熊本県	大分県	鹿児島県	海外		
1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人		
0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%		

## (2) 問2 性別・年代

問2は、来訪者の性別、年代に関する設問である。

性別を集計しグラフ化したのが図14である。この図より、性別の構成をみると女性が若干多い(50.8%)状況であった。

また、年代構成を集計しグラフ化したのが図15である。この図より、岩手県外来訪者は「40歳代」が最も多いことがわかる(岩手県外：22.5%)。また、岩手県内、岩手県外来訪者のいずれも、50歳代未満が全来訪者の半数以上となった。(岩手県内：50.0%、岩手県外：54.6%)

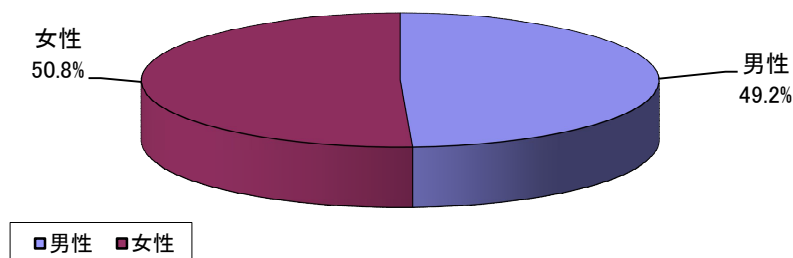


図14 来訪者の性別

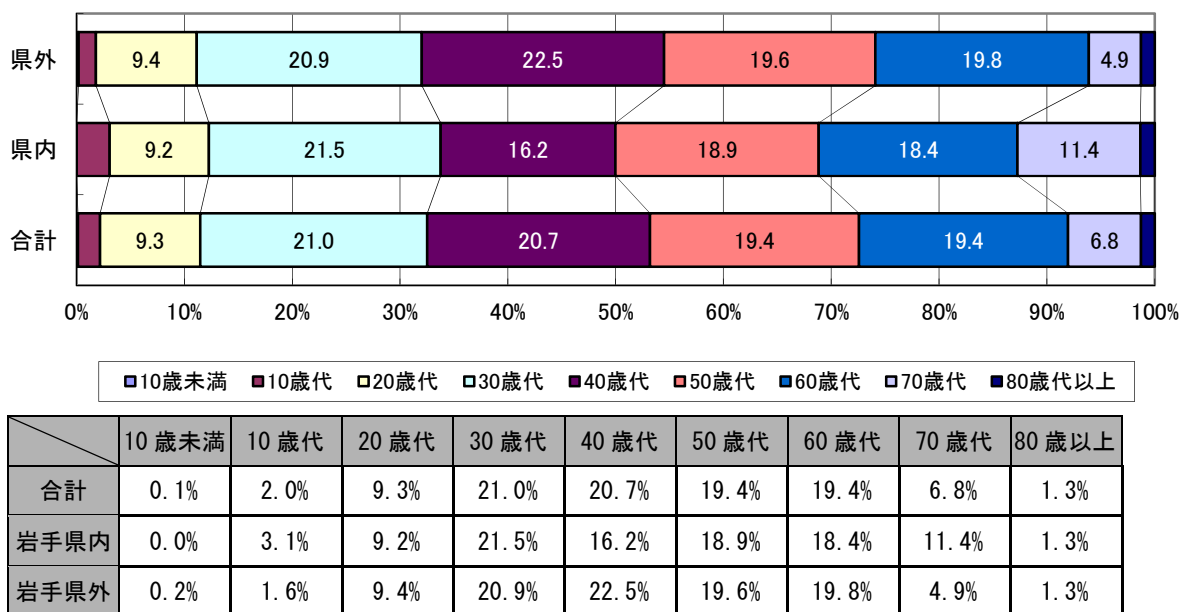


図15 岩手県内/外来訪者の年代構成(比率)

### (3) 問3 宿泊形態および宿泊数

問3は、旅行の日帰り・宿泊の区分、および県内の宿泊に関する設問である。本設問の回答結果を日帰り、宿泊の区分別に集計シグラフ化したのが図16である。

来訪者の宿泊形態は日帰り（36.0%）と宿泊（64.0%）であった。

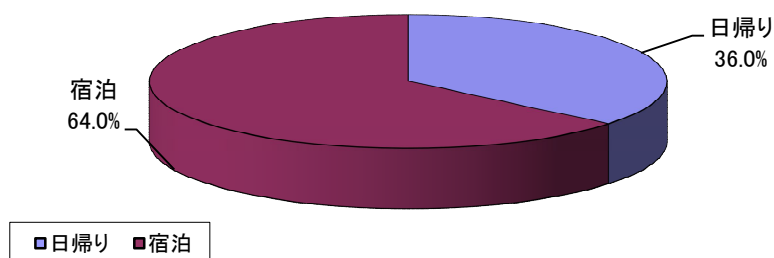


図16 来訪者の宿泊形態

来訪者の全日程及び岩手県内における宿泊日数を集計シグラフ化したのが図17、18である。宿泊客全体（県外宿泊も含む）の宿泊日数は「1日」が最も多く、全体の3割以上（35.5%）を占めている。なお、岩手県内宿泊数では、宿泊日数「1日」の割合が5割以上であった。（54.4%）

※宿泊数平均 3.1(泊) 県内宿泊数平均 2.1(泊)

また、利用した岩手県内の宿泊施設の種類の数を集計シグラフ化したのが図19である。

この図より、岩手県内の宿泊者のほぼ9割（91.9%）は、宿泊施設の種類の数は「1種類」であった。

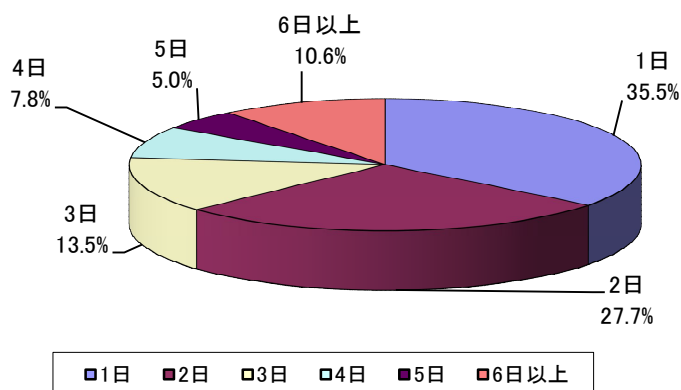


図17 宿泊数（全日程）

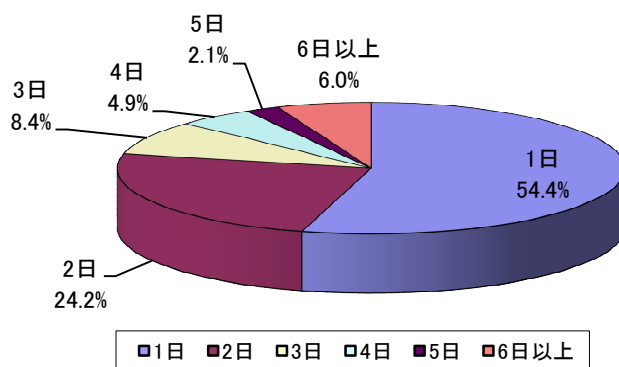


図18 岩手県内宿泊数



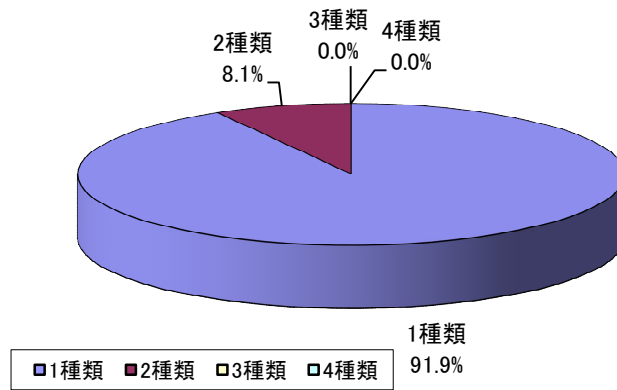


図 19 岩手県内宿泊施設数

利用した県内の宿泊施設の種類を集計しグラフ化したのが図 20 である。県内宿泊者が利用する宿泊施設の種類は「ホテル」(41.0%) が最も多く、次いで「実家や知人・親戚宅」(27.1%) である。次いで、「旅館」(17.1%) であり、これら以外の宿泊施設利用は全て 5%未満であった。

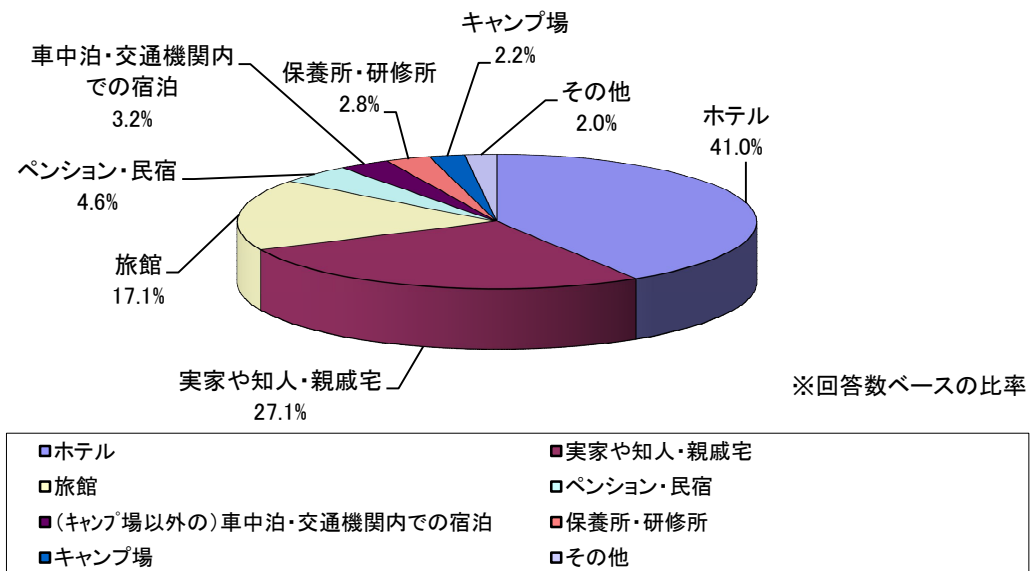


図 20 宿泊施設の種類

表 14 宿泊施設の内訳

ホテル	実家や知人・親戚宅	旅館	ペンション・民宿	(キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊
44.1%	29.1%	18.4%	4.9%	3.4%
206 人	136 人	86 人	23 人	16 人
保養所・研修所	キャンプ場	その他	別荘・リゾートマンション	会員制の宿泊施設
3.0%	2.4%	2.1%	0.6%	0.2%
14 人	11 人	10 人	3 人	1 人

#### (4) 問4 訪問の目的

問4は、訪問の目的に関する設問である。

本設問の結果を集計しグラフ化したのが図21である。訪問の目的は「観光」が3/4以上を占めており（75.8%）、次いで「帰省・知人訪問」（13.3%）、「その他」（8.5%）である。

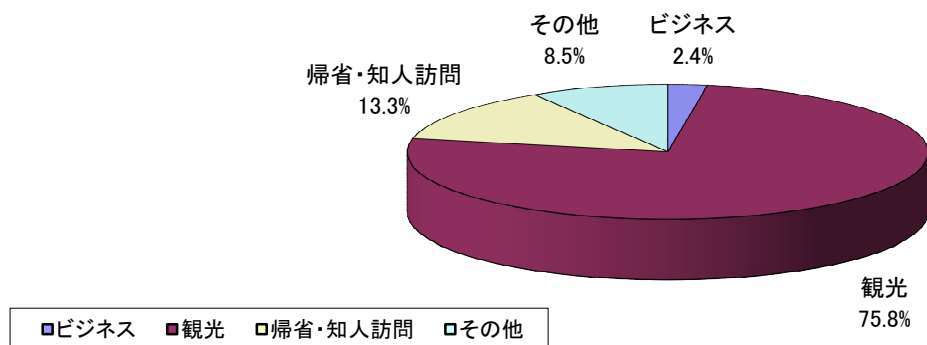


図21 訪問の目的

#### (5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ

問5は、旅行人数および同行者のタイプに関する設問である。

「旅行人数」別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図22である。旅行人数が最も多かったのは「2人」（31.1%）であり、次いで「4人」（20.9%）、「3人」（16.6%）であった。

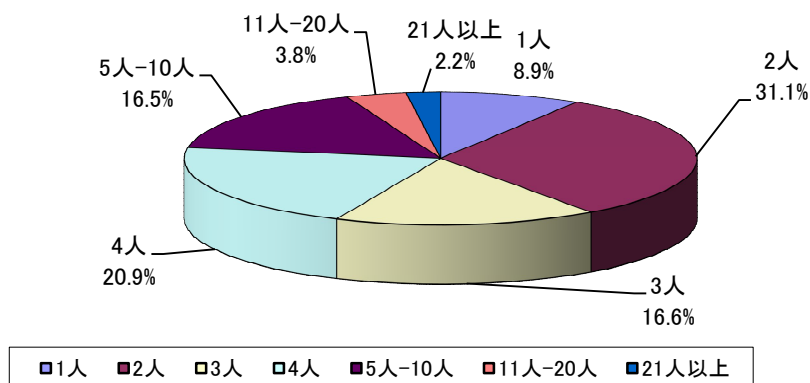


図22 旅行人数

同行者のタイプ別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図23である。同行者のタイプとして最も多いのは「家族」（80.7%）で、回答者全体の約8割強を占めた。次いで「友人」（10.3%）、「職場・学校等の団体旅行」（7.5%）などである。

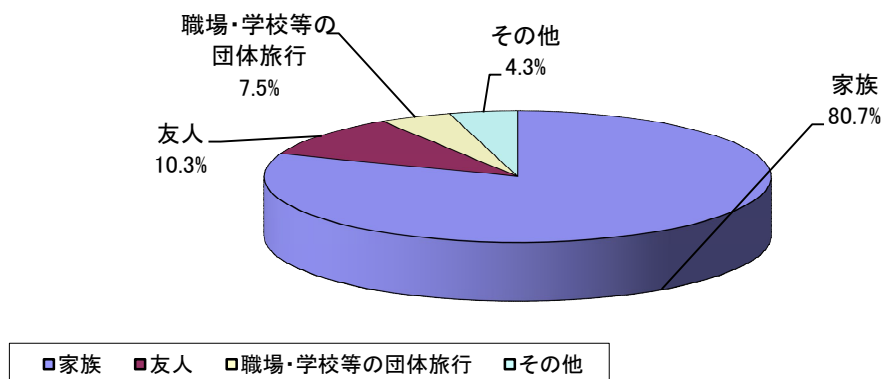


図23 同行者のタイプ

### (6) 問6 観光地訪問の認知、回数

問6、7は、岩手県内観光地への訪問経験の認知及び、県外からの来訪者に対する岩手県訪問の認知及び回数に関する設問である。

調査地点とした観光地への訪問の認知度については、全来訪者の9割以上(93.5%)が「知っている」と回答した。

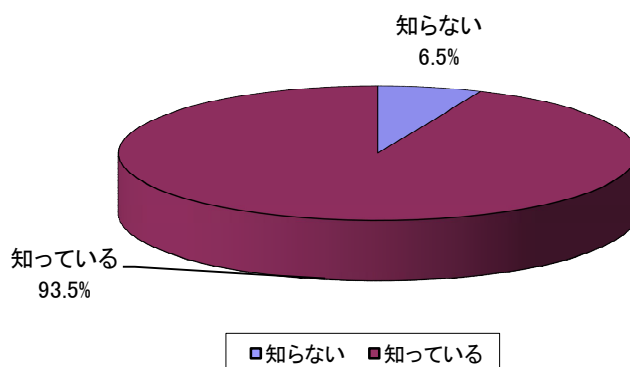


図24 観光地訪問の認知

### (7) 問7 岩手県訪問の認知、回数 (岩手県外の方のみ対象の設問)

問7は岩手県外からの来訪者を対象にした、岩手県への訪問の認知及び回数に関する設問である。

岩手県への訪問の認知を質問したところ、9割以上(92.2%)の来訪者が「知っている」と回答した。

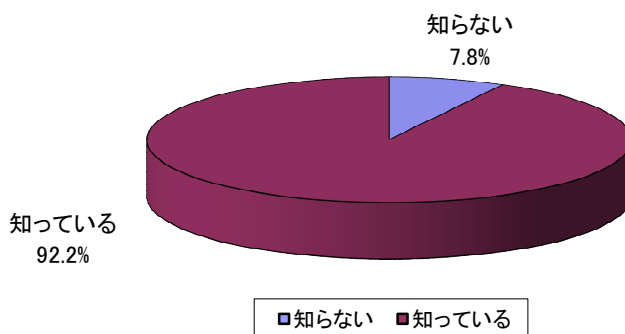


図25 岩手県訪問の認知 (岩手県外来訪者)

(8) 問8 観光地への交通機関

問8は、岩手県への来県や観光地への訪問で利用した交通機関、および訪問やその予定のある岩手県内観光地やその他立ち寄り都道府県に関する設問である。

調査地点である観光地へ来訪する際に利用した交通機関を集計しグラフ化したものが図26である。

この図より、最も多く利用されているのが「自家用車、社用・公用車」(71.6%)であり、次いで「JR新幹線」(11.7%)、「その他」(8.2%)であった。この上位3位で全体の9割以上(91.5%)を占めている。

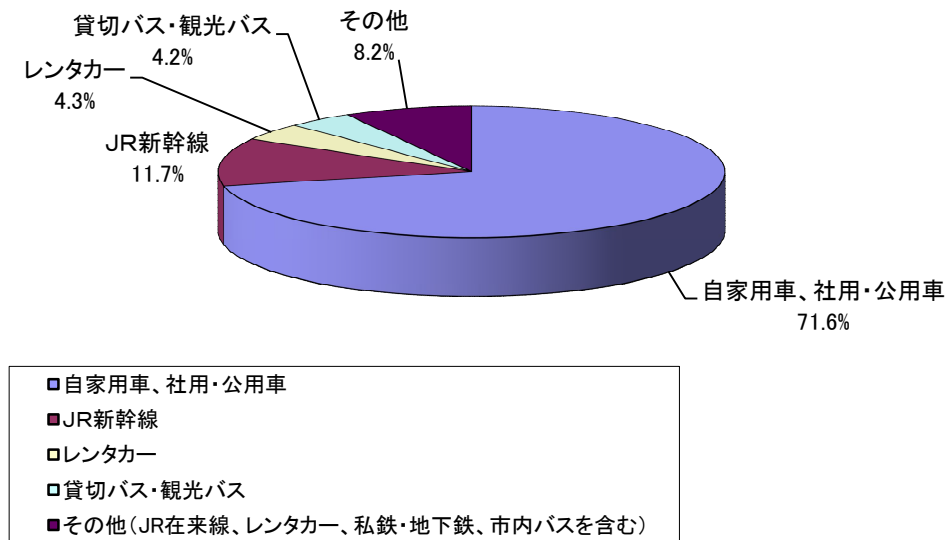


図26 観光地点への交通機関

表15 観光地点への交通機関内訳 (比率)

J R新幹線	J R在来線	私鉄・地下鉄	モノレール
11.7%	0.9%	0.0%	0.0%
貸切バス・観光バス	高速バス	市内バス	市内電車
4.2%	0.9%	0.0%	0.0%
タクシー・ハイヤー	レンタカー	自家用車、社用・公用車	その他
0.4%	4.3%	71.6%	5.2%

(9) 問9 今回の旅行費用について

問9は、今回の旅行費用に関する設問である。

1人当たりの岩手県内における交通費を集計しグラフ化したものが図27、28であり、岩手県外における交通費を集計したグラフが図29、30である。

岩手県内の交通費においては、来訪者全体の5割以上（55.0%）が「2,000円未満」となっているが、県内からの来訪者がこの価格帯の約9割（89.0%）を占めているのに対し、県外からの来訪者は約4割（41.0%）にとどまり、残りの半数以上（59.0%）は2,000円以上を支出している。

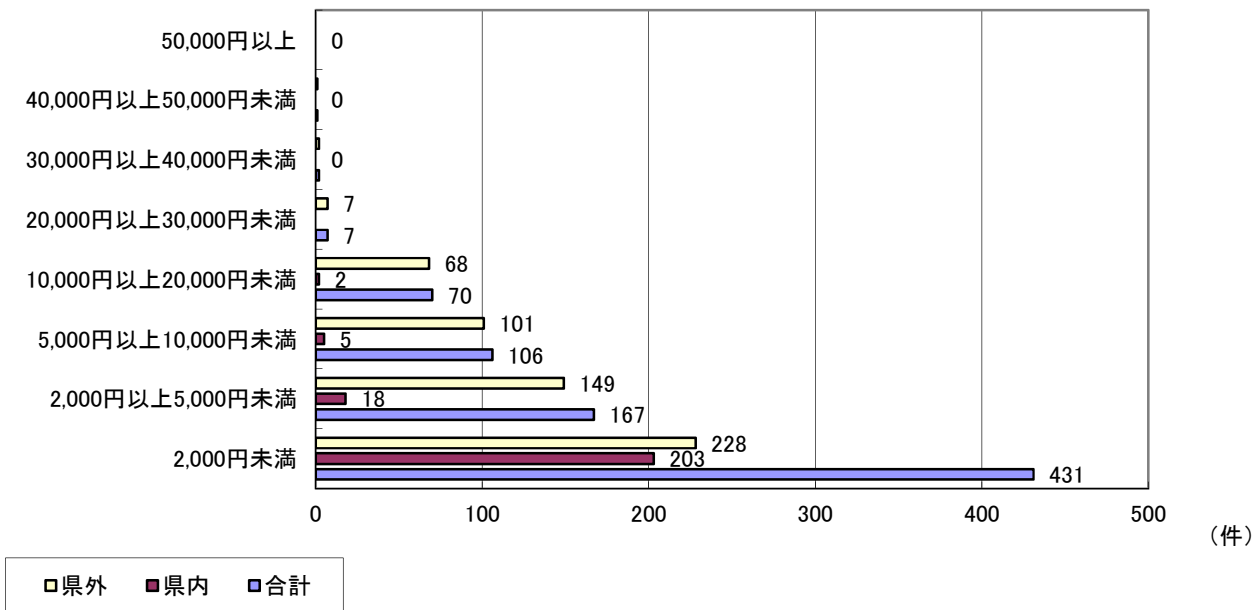
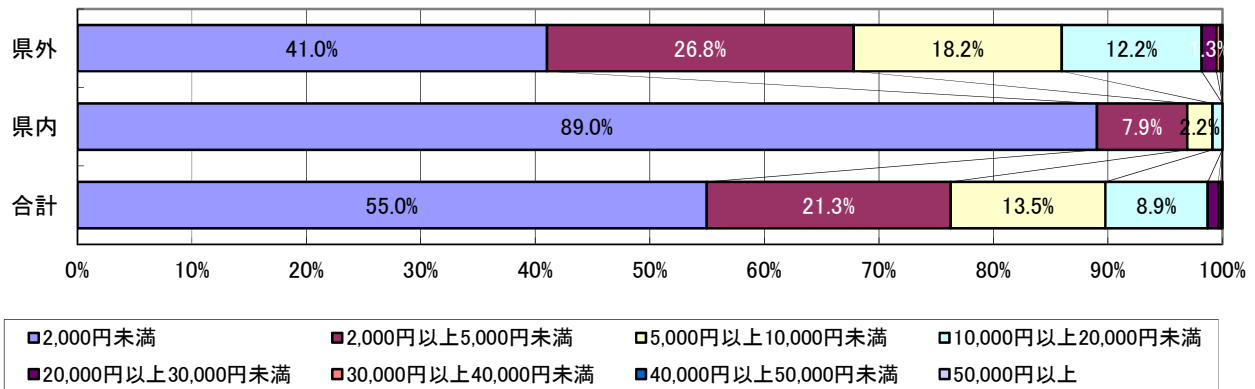


図27 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・件数）



	2,000円未満	2,000円以上5,000円未満	5,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上30,000円未満	30,000円以上40,000円未満	40,000円以上50,000円未満	50,000円以上
合計	55.0%	21.3%	13.5%	8.9%	0.9%	0.3%	0.1%	0.0%
岩手県内	89.0%	7.9%	2.2%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	41.0%	26.8%	18.2%	12.2%	1.3%	0.4%	0.2%	0.0%

図28 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・比率）

岩手県外の交通費においては、来訪者全体の4割以上（42.7%）が「1,000円未満」となっている。県内からの来訪者のほとんどがこの価格帯で占められているが（98.2%）、県外からの来訪者では2割（20.0%）となっている。県内からの来訪者全員が岩手県内のみの旅程であることが窺える。

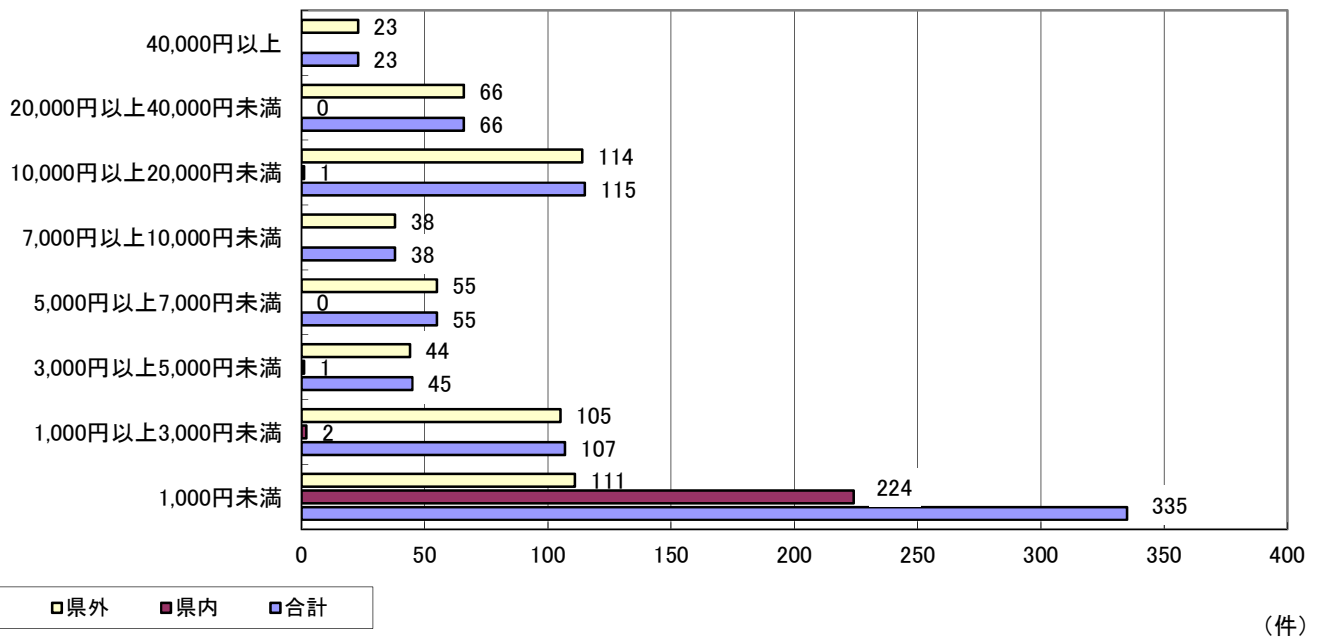
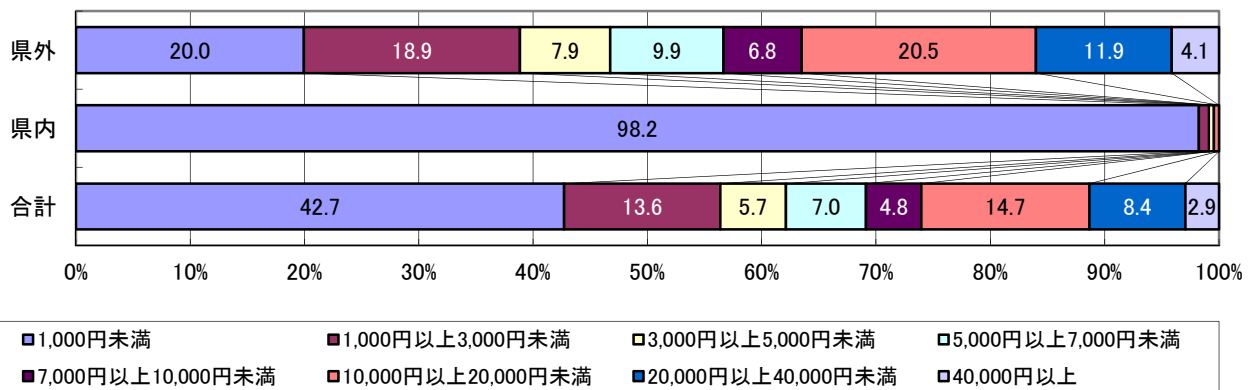


図29 岩手県内／外交通費比較 (岩手県外・件数)



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	42.7%	13.6%	5.7%	7.0%	4.8%	14.7%	8.4%	2.9%
岩手県内	98.2%	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%
岩手県外	20.0%	18.9%	7.9%	9.9%	6.8%	20.5%	11.9%	4.1%

図30 岩手県内／外交通費比較 (岩手県外・比率)

本設問より、1人当たりの岩手県内における宿泊費を集計しグラフ化したものが図31、32である。宿泊費を県内・県外の来訪者別に比較すると、双方とも「1,000円未満」が最も多い。これは全来訪者のうち日帰りの割合が約3割以上（36.0%）を占めていることに所以する。

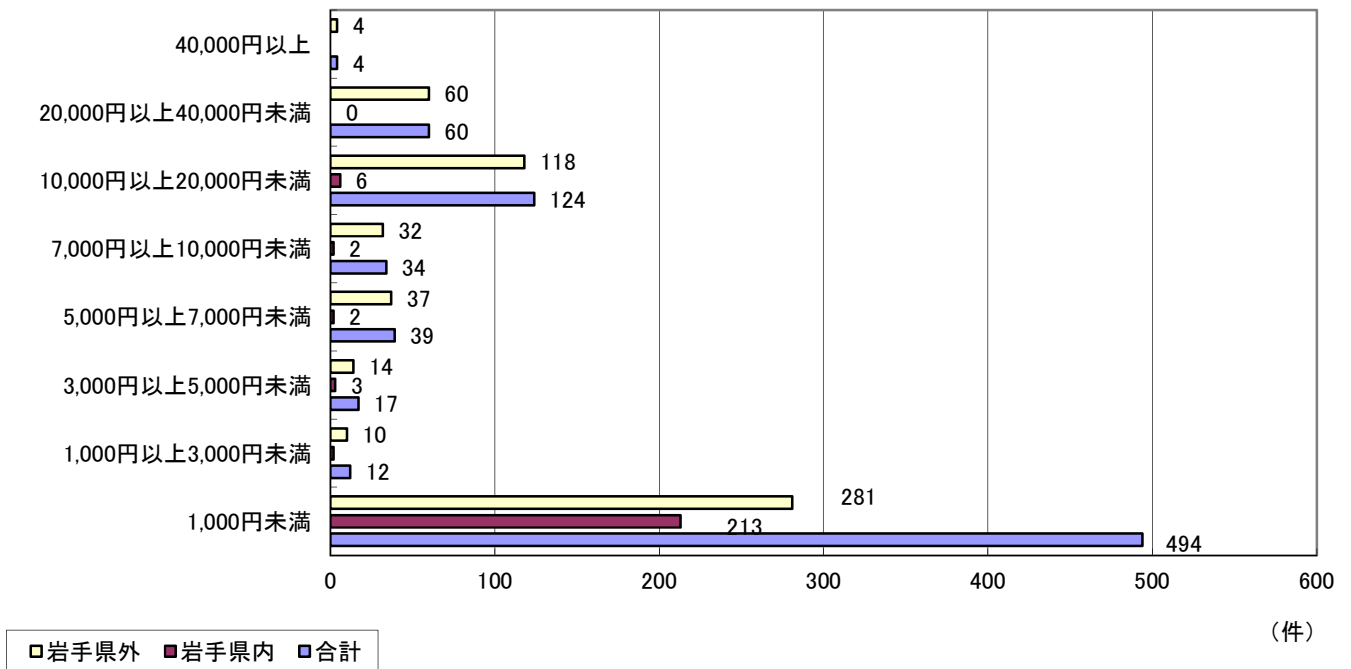
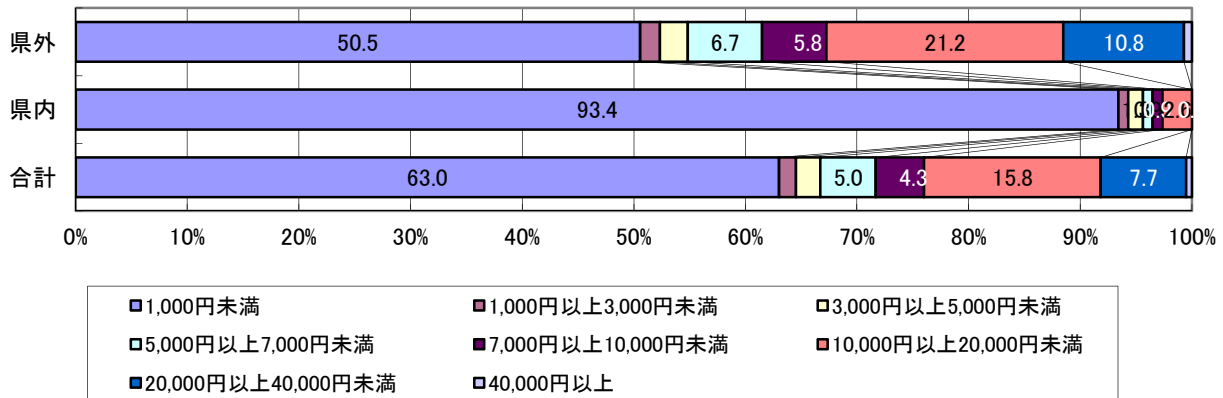


図31 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	63.0%	1.5%	2.2%	5.0%	4.3%	15.8%	7.7%	0.5%
岩手県内	93.4%	0.9%	1.3%	0.9%	0.9%	2.6%	0.0%	0.0%
岩手県外	50.5%	1.8%	2.5%	6.7%	5.8%	21.2%	10.8%	0.7%

図32 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・比率）

図31、図32で用いたデータより、日帰り来訪者及びパcktツアー利用者を除外して再集計しグラフ化したものが、図31-1、図32-1である。

件数では「1,000円未満」と「10,000円以上（～20,000円未満項目）」に2つのピークがあり、前者が3割強、後者が約2割強であった。前者に関しては、宿泊施設の選択肢「実家や知人・親戚宅利用」の約2割強（27.1%）が影響しているものと思われる。また、県内・県外の来訪者別での宿泊件数では、県外来訪者が県内来訪者の16倍以上であった（県内来訪者：26件、県外来訪者：426件）。

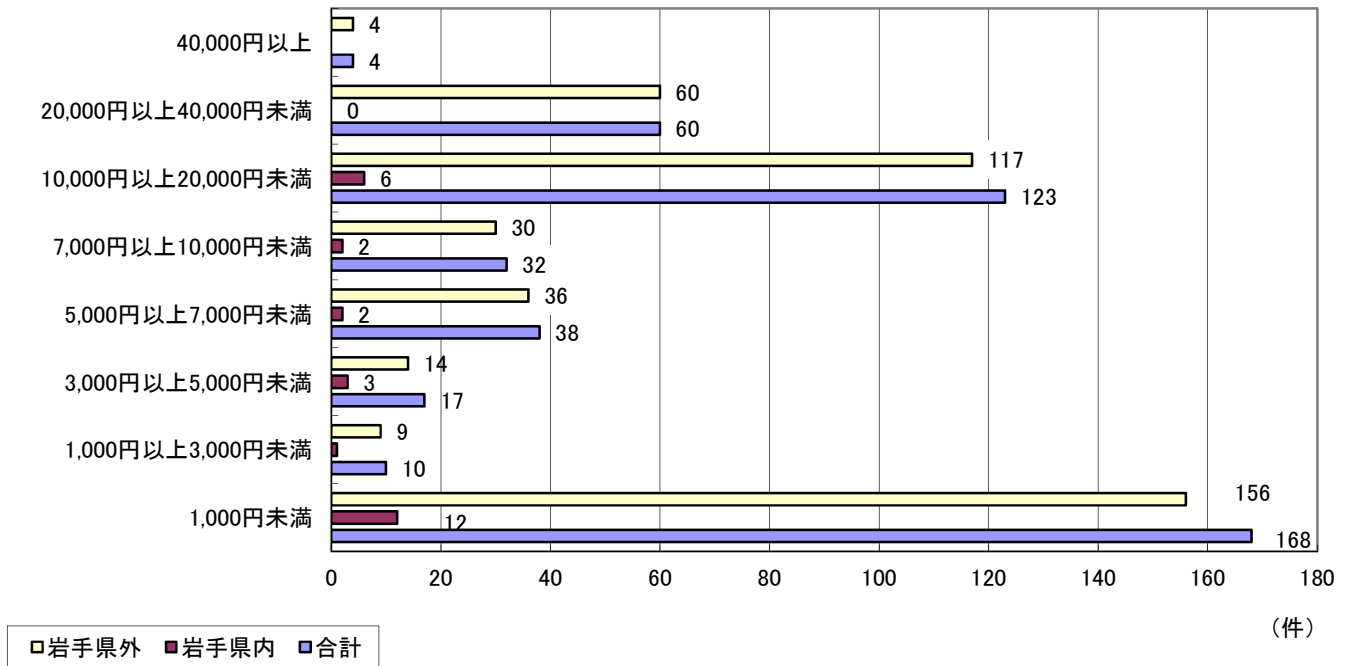
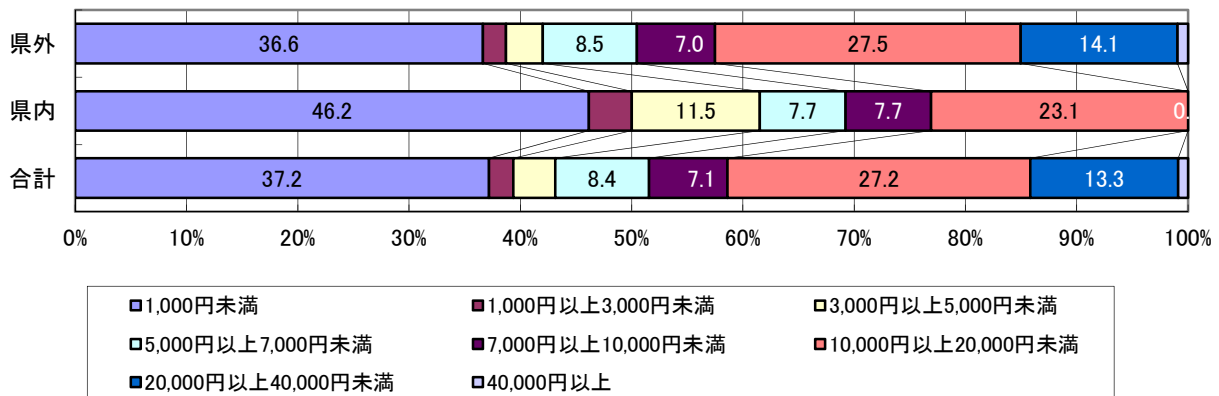


図30-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・比率)



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	37.2%	2.2%	3.8%	8.4%	7.1%	27.2%	13.3%	0.9%
岩手県内	46.2%	3.8%	11.5%	7.7%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%
岩手県外	36.6%	2.1%	3.3%	8.5%	7.0%	27.5%	14.1%	0.9%

図31-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・比率)



本設問より、1人当たりの土産代を集計しグラフ化したのが図33、34である。

この図より、1人当たりの土産代は、合計では「1,000円以上（3,000円未満）」が36.1%と最も多く、3,000円未満の内訳をみると、県内からの来訪者は約9割（89.5%）となり、県外からの来訪者は約半数（48.4%）にとどまっている。3,000円以上の価格帯を土産代で支出しているのは、その多くが県外来訪者であった（県内来訪者：10.5%、県外来訪者：51.6%）。

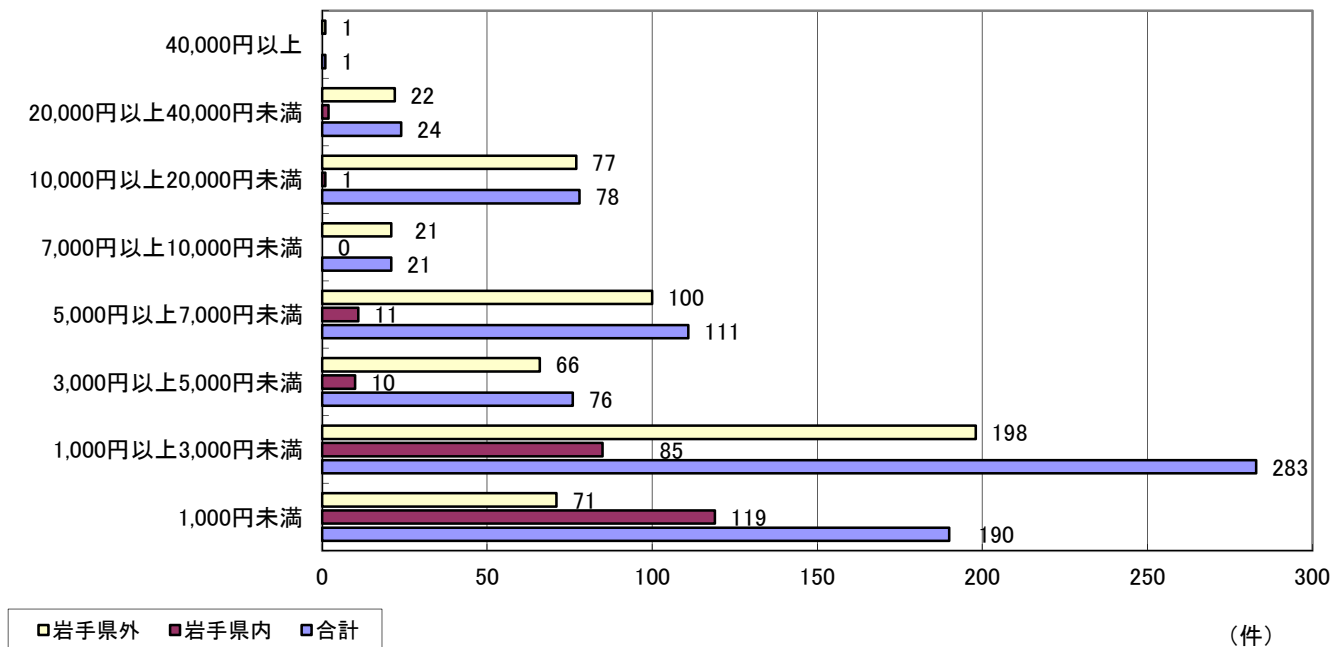
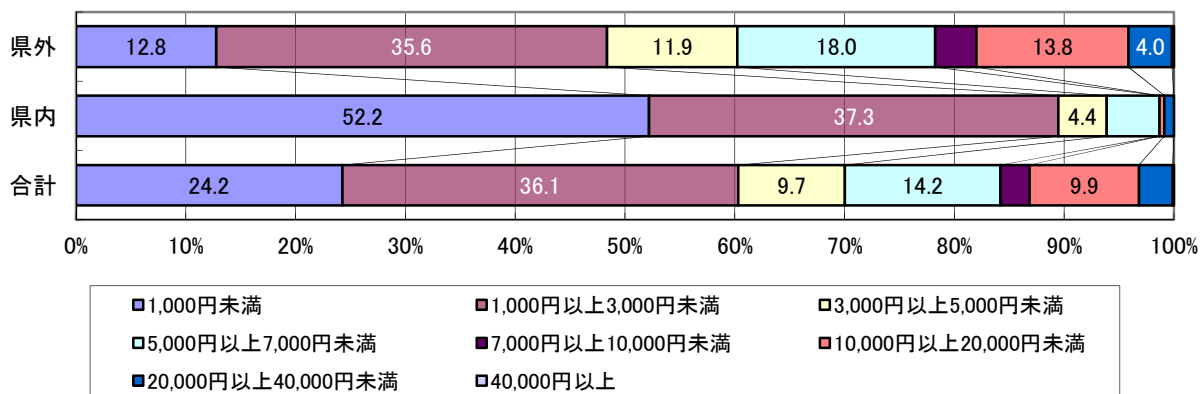


図33 岩手県内／外旅行費用の比較（土産代・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	24.2%	36.1%	9.7%	14.2%	2.7%	9.9%	3.1%	0.1%
岩手県内	52.2%	37.3%	4.4%	4.8%	0.0%	0.4%	0.9%	0.0%
岩手県外	12.8%	35.6%	11.9%	18.0%	3.8%	13.8%	4.0%	0.2%

図34 岩手県内／外旅行費用の比較（土産代・比率）

本設問より、1人当たりの飲食費をグラフ化したものが図35、36である。

この図より1人当たりの飲食費は、合計では「1,000円以上 3,000円未満」が45.0%と最も多い。県内・県外の来訪者別で見ると、県内からの来訪者では「10,000円以上 20,000円未満」がほぼ支出の上限であり、20,000円以上の価格帯は、県外からの来訪者のみであった（県内来訪者：0件、県外来訪者：16件）。

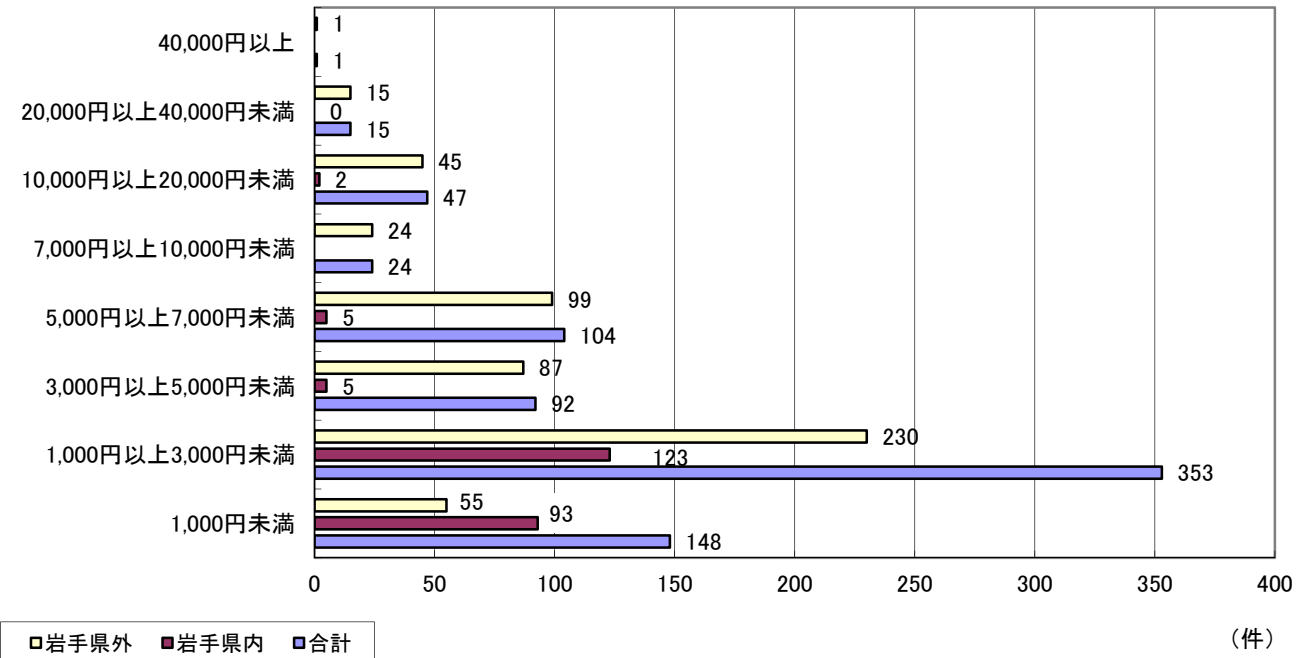
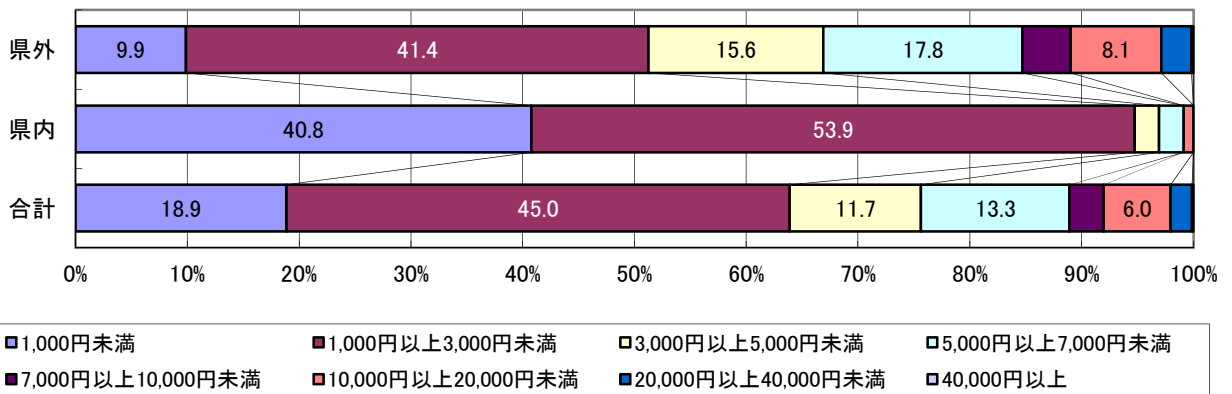


図35 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	18.9%	45.0%	11.7%	13.3%	3.1%	6.0%	1.9%	0.1%
岩手県内	40.8%	53.9%	2.2%	2.2%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%
岩手県外	9.9%	41.4%	15.6%	17.8%	4.3%	8.1%	2.7%	0.2%

図36 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・比率）

本設問の結果、1人当たりの入場料を集計しグラフ化したのが図37、38である。

この図より、1人当たりの入場料は、県内・県外とも「1,000円未満」が最も多く、県内・県外の来訪者ともに、3,000円未満の価格帯までで9割以上を占めている（県内来訪者：100%、県外来訪者：95.5%）。

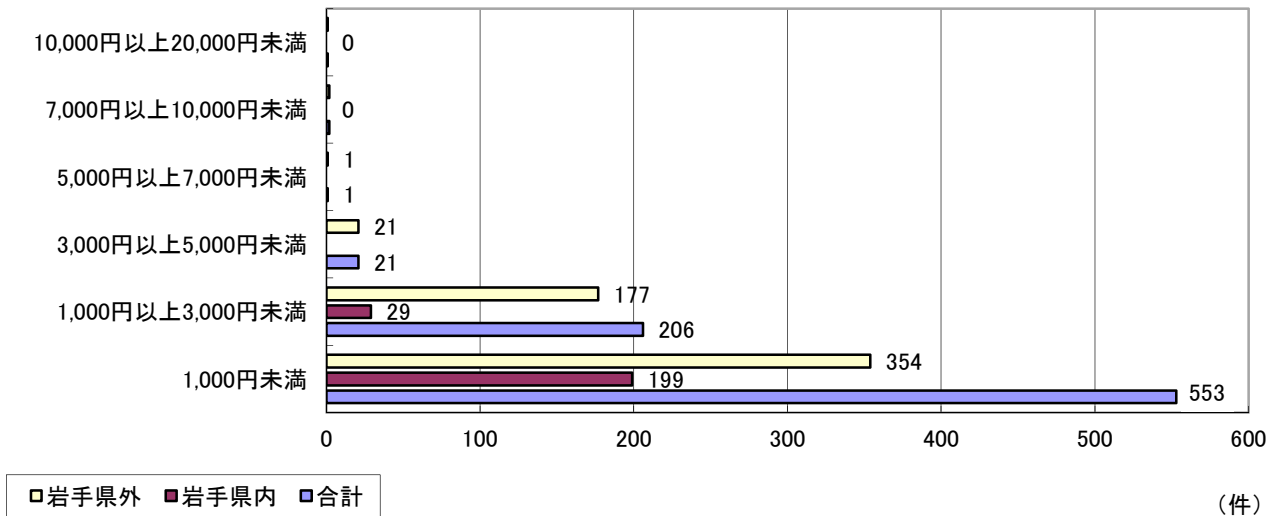
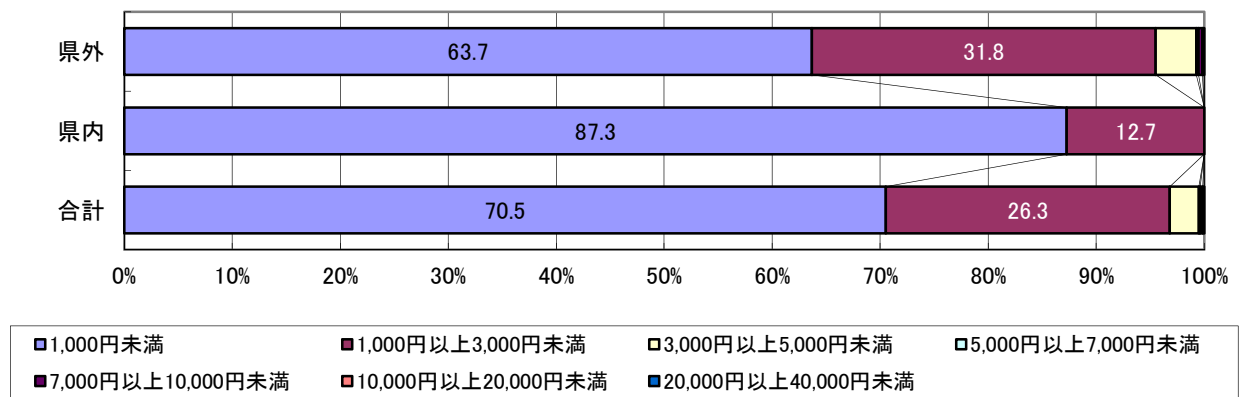


図37 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上15,000円未満	15,000円以上
合計	70.5%	26.3%	2.7%	0.1%	0.3%	0.1%	0.0%
岩手県内	87.3%	12.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	63.7%	31.8%	3.8%	0.2%	0.4%	0.2%	0.0%

図38 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・比率）

本設問の結果、1人当たりのその他費用を集計しグラフ化したのが図39、40である。  
この図より、1人当たりその他費用は、合計では「1,000円未満」が99.4%と、9割以上を占めている。

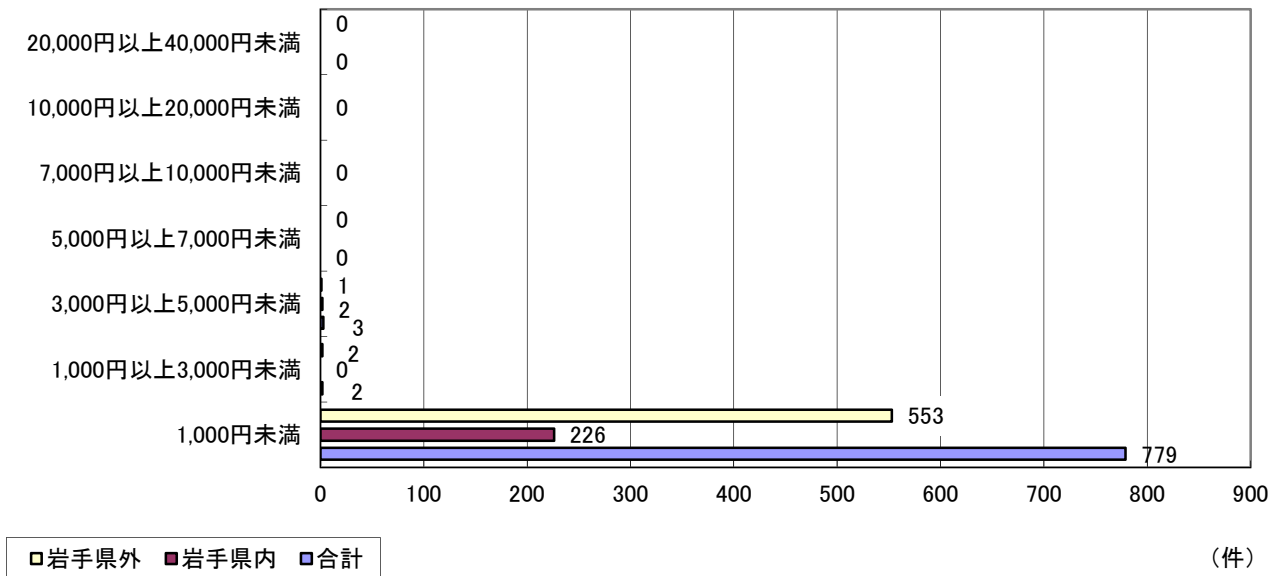


図39 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・件数）

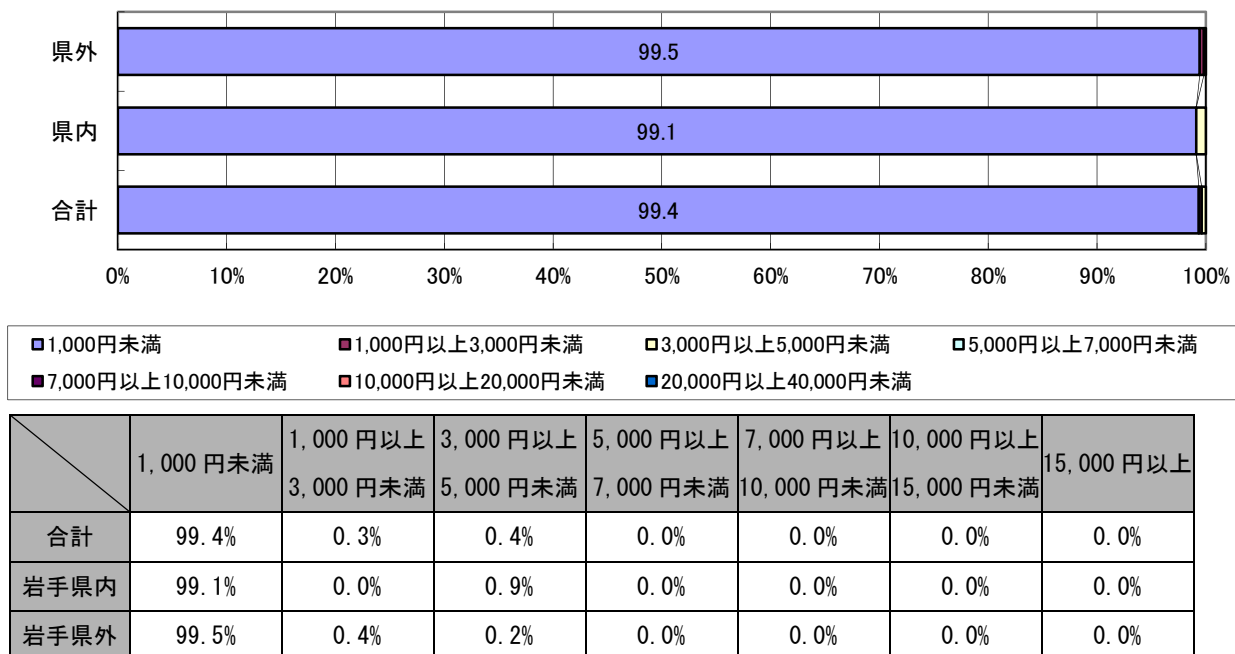


図40 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・比率）

本設問の結果、1人当たりのパック料金を集計しグラフ化したのが図41、42である。  
この図より、1人当たりのパック料金は、県内・県外の来訪者とも「1,000円未満」が9割以上（92.9%）であるが、これはパックツアーを利用しなかった来訪者が多いことに所因する。

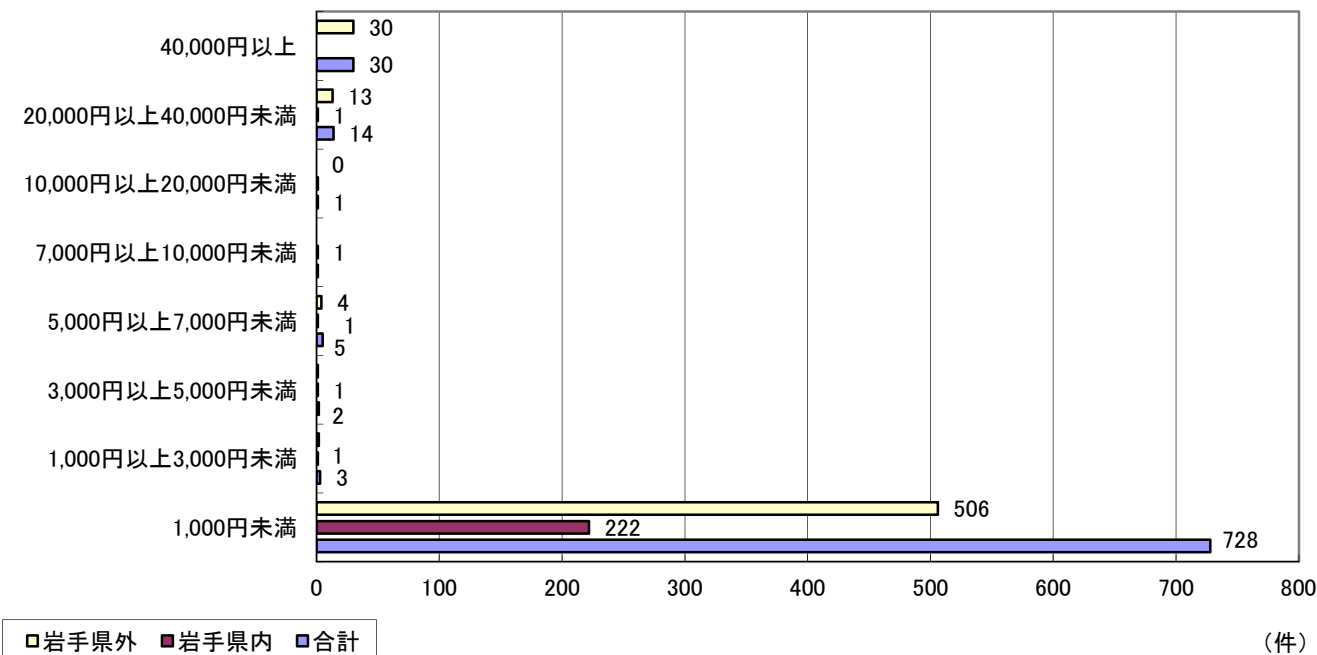
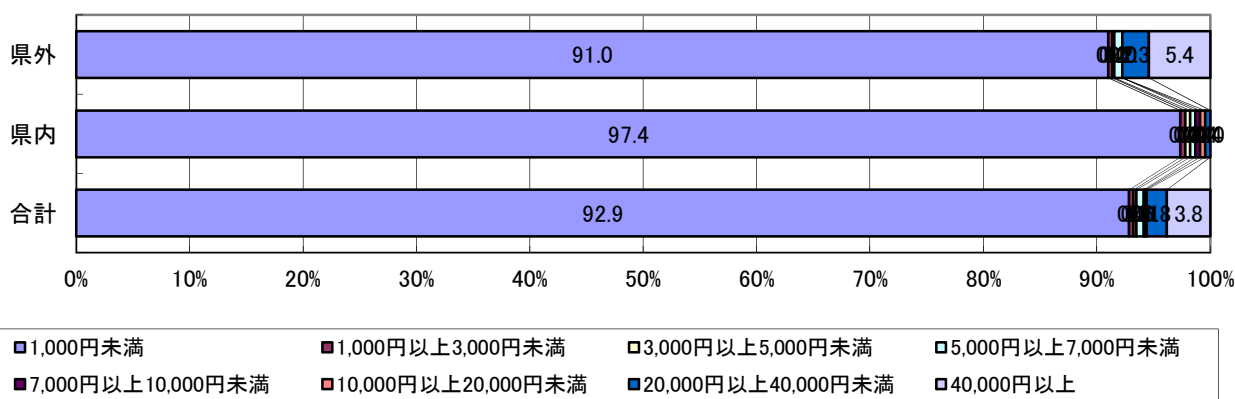


図41 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	92.9%	0.4%	0.3%	0.6%	0.1%	0.1%	1.8%	3.8%
岩手県内	97.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.0%
岩手県外	91.0%	0.4%	0.2%	0.7%	0.0%	0.0%	2.3%	5.4%

図42 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・比率）

図41、図42で用いたデータより、パックツアーを利用した来訪者のみに対して再集計しグラフ化したものが、図41-1、図42-1である。

比率を見ると、県内からの来訪者では 7,000円未満が5割以上（57.2%）であるが、県外からの来訪者では10,000円以上が8割を超えている（85.7%）。また、パックツアー利用者の合計件数においては、県外からの来訪者が県内からの来訪者の7倍であった（県内来訪者：7件、県外来訪者：49件）。

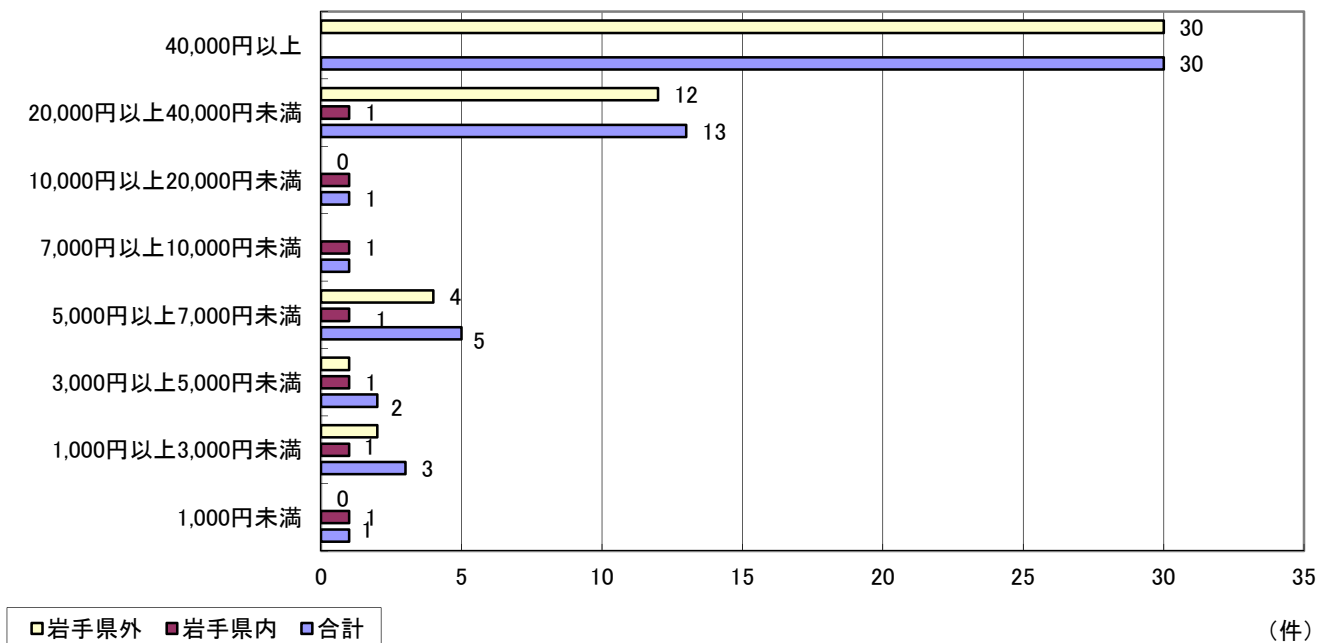


図41-1 岩手県内／外旅行費用の比較 (パック料金・件数 パックツアー利用者のみ)

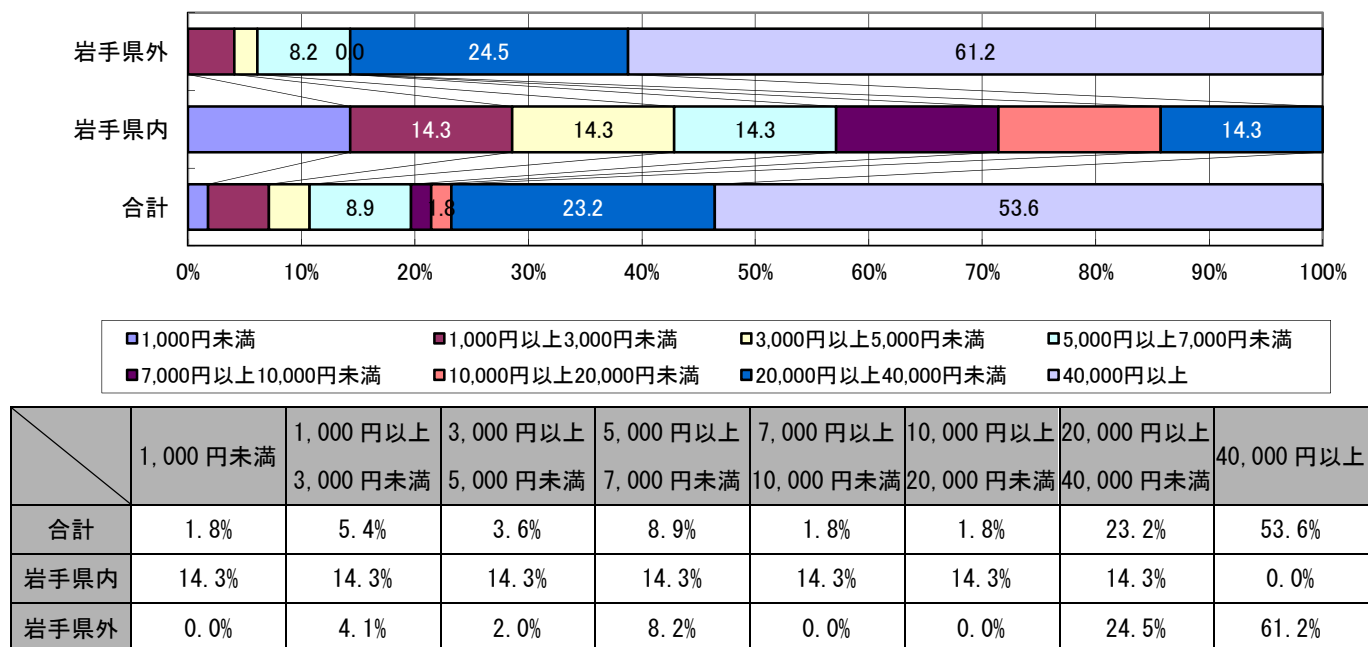


図42-1 岩手県内／外旅行費用の比較 (パック料金・比率 パックツアー利用者のみ)